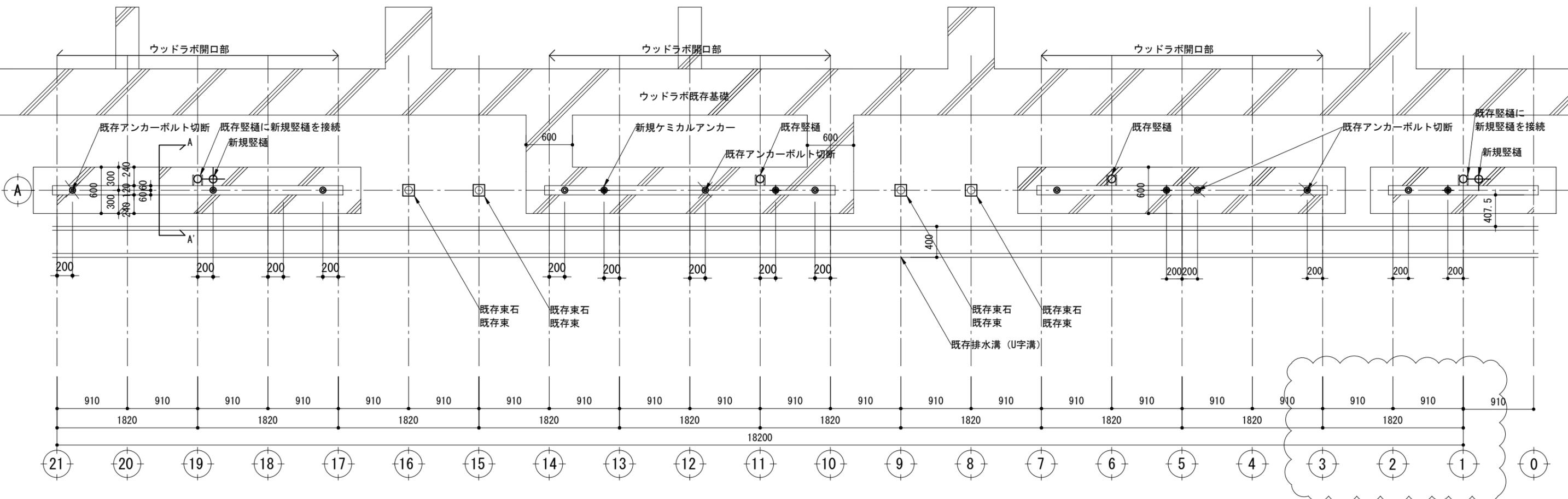


TITLE	NAME	SCALE	DATE	SHEET NO.
木立のこみち	庇_立面図・西面	1/50	2022/3/1	B2-2

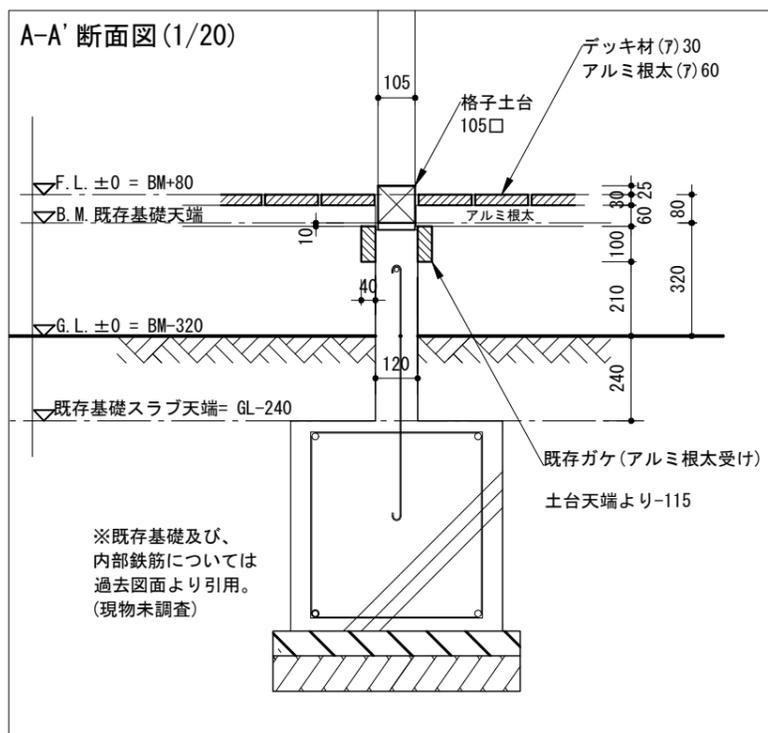
DRAW : 鈴木 篤司



※通路側の新設基礎なし



通り芯の寸法値は既存基礎の配置、サイズを示す。  
 通路側の通り芯の間隔については、通路の平面図を参照のこと。



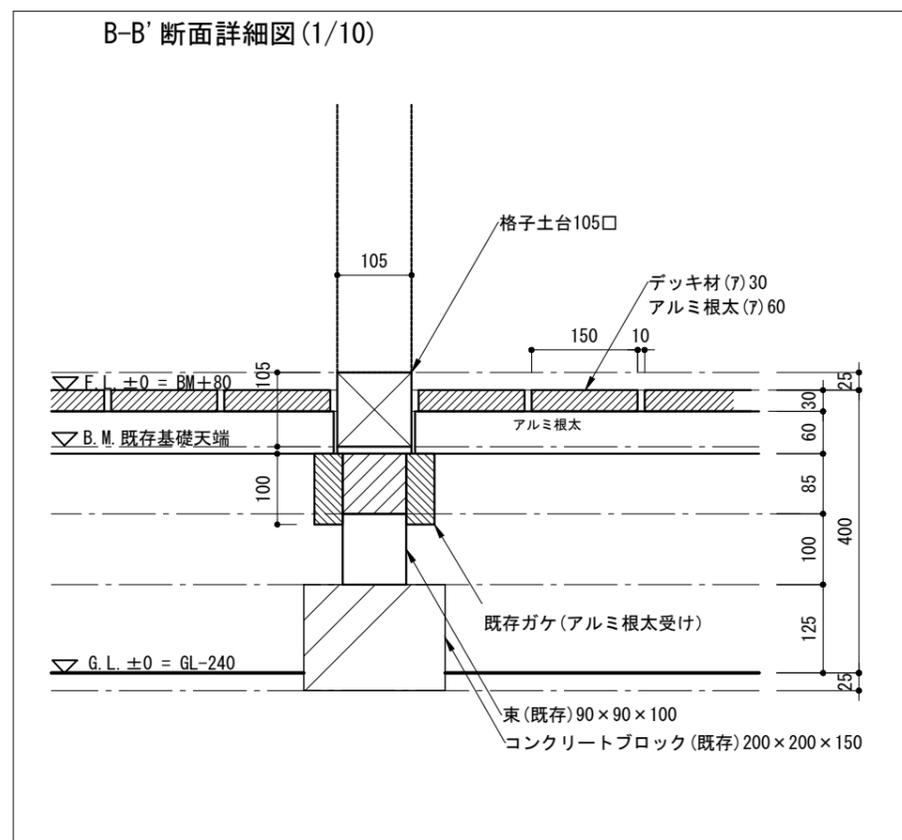
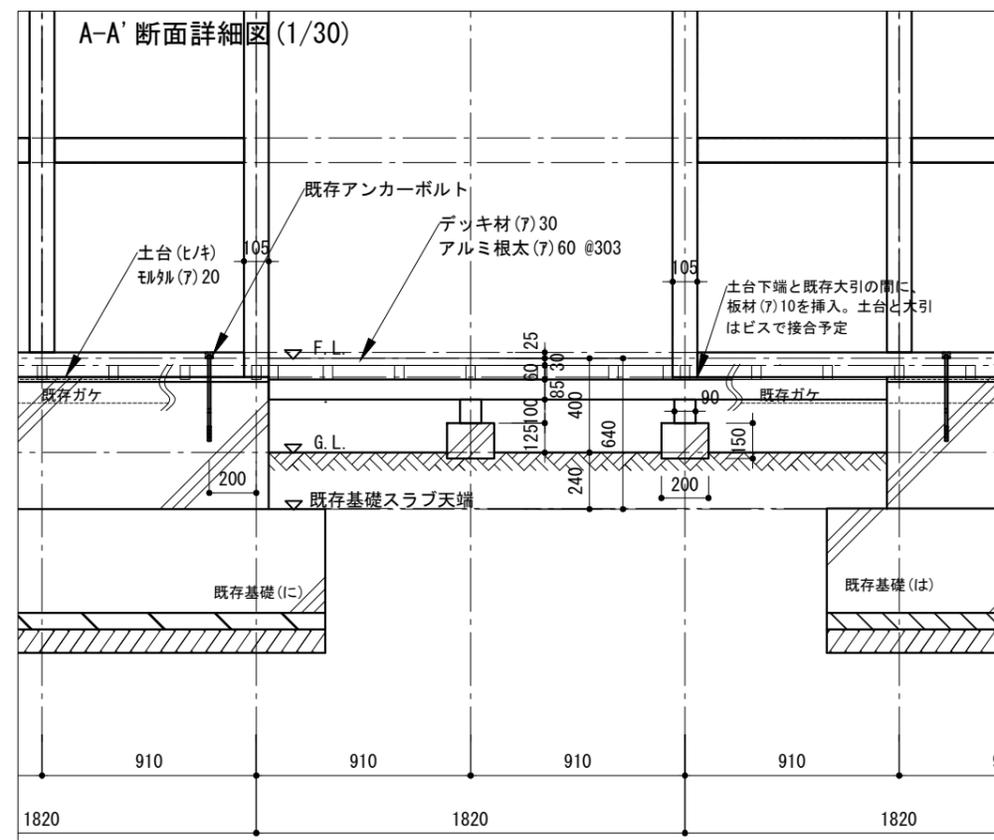
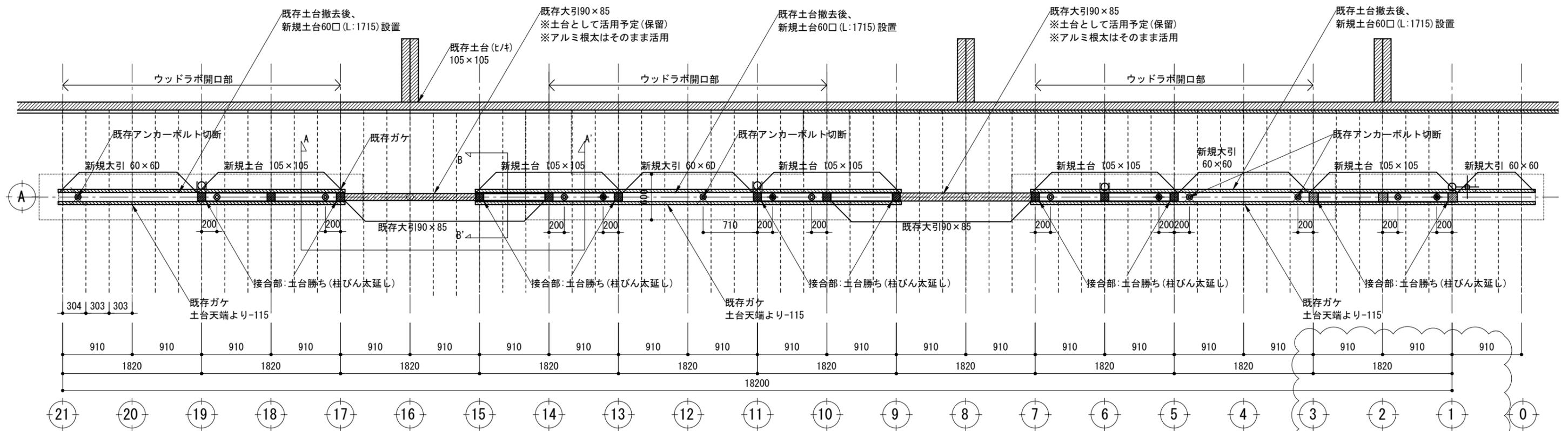
※既存基礎及び、内部鉄筋については過去図面より引用。(現物未調査)



凡例

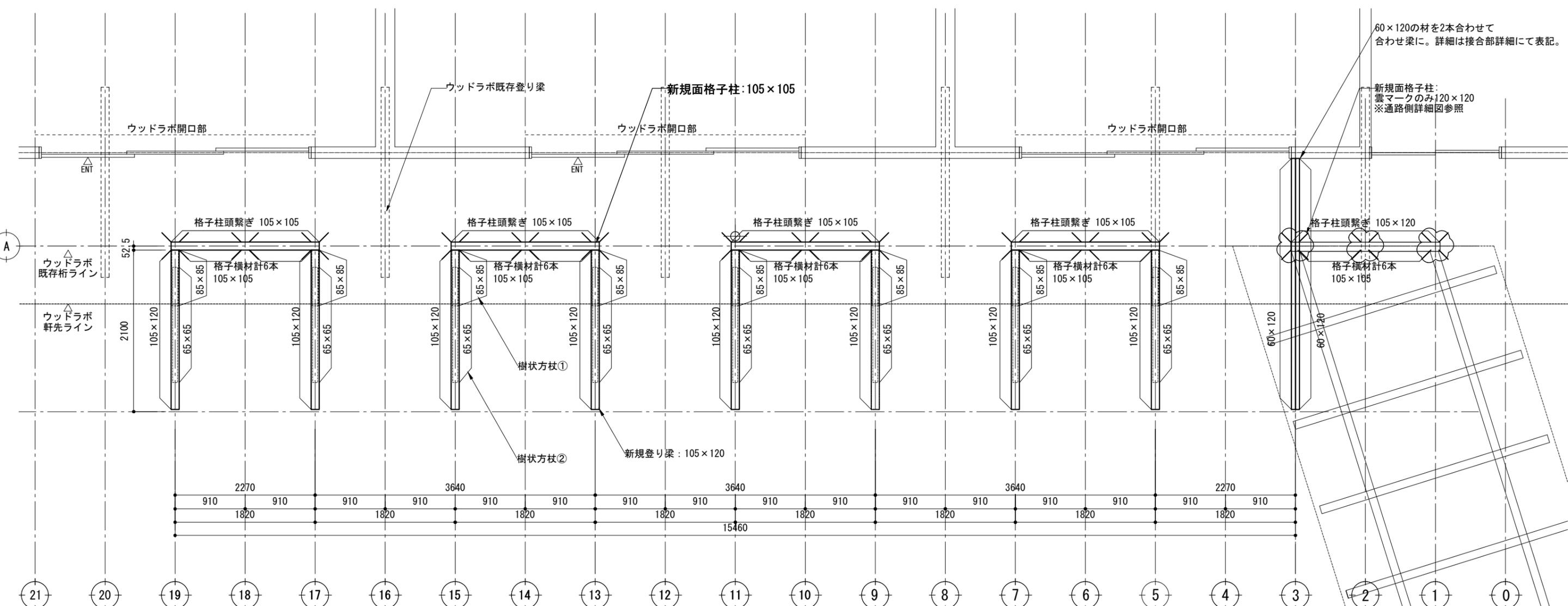
●	既存アンカーボルト M12 L=350 @2000以内
◆	新規アンカーボルト M12 L=350 ケミカルアンカー-PGタイプ
○	既存束 (スギ 劣化が激しければ鋼製束を代用)
□	既存東石 120×120×150
⌈ 〰 〰 ⌋	既存基礎部分 (内側:基礎立ち上がり部分)

8月12日修正: 新規アンカー位置の誤り2箇所 (18通り右→削除、6通り左→5通り左へ変更)



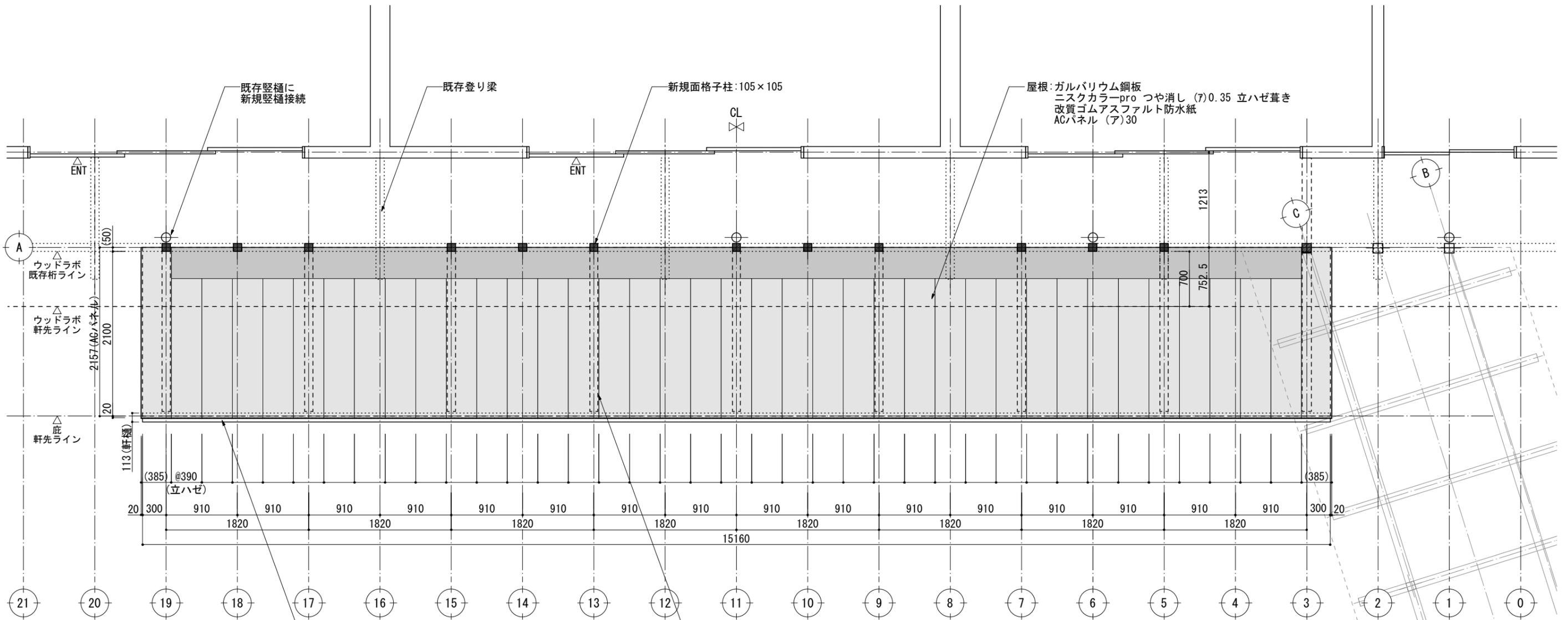
凡例

	土台(ヒキ) 105×105
	既存大引(90×85)
	既存基礎
	既存アンカーボルト M12 L=350 @2000以内
	新規アンカーボルト M12 L=350(ケミカルアンカーPGタイプ)
	柱
	既存縦樋(スチール)
	新規雨樋
	土台天端からの高さを示す
	下に東があることを示す
	アルミ根太
	既存ガケ(アルミ根太受け)

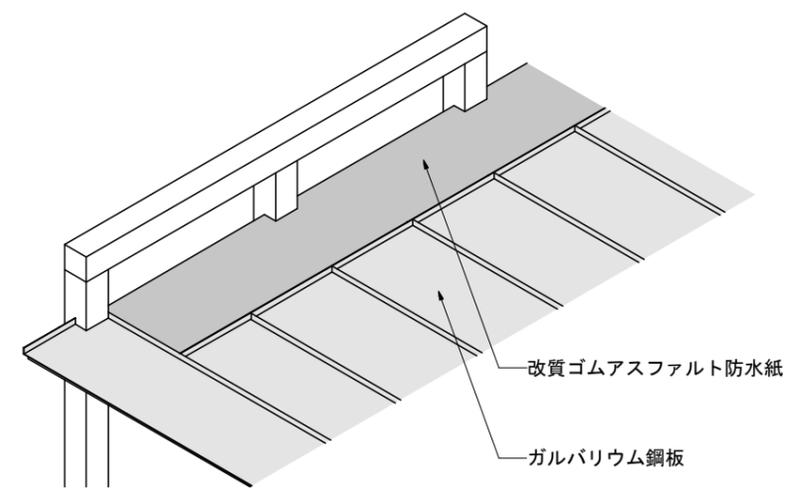


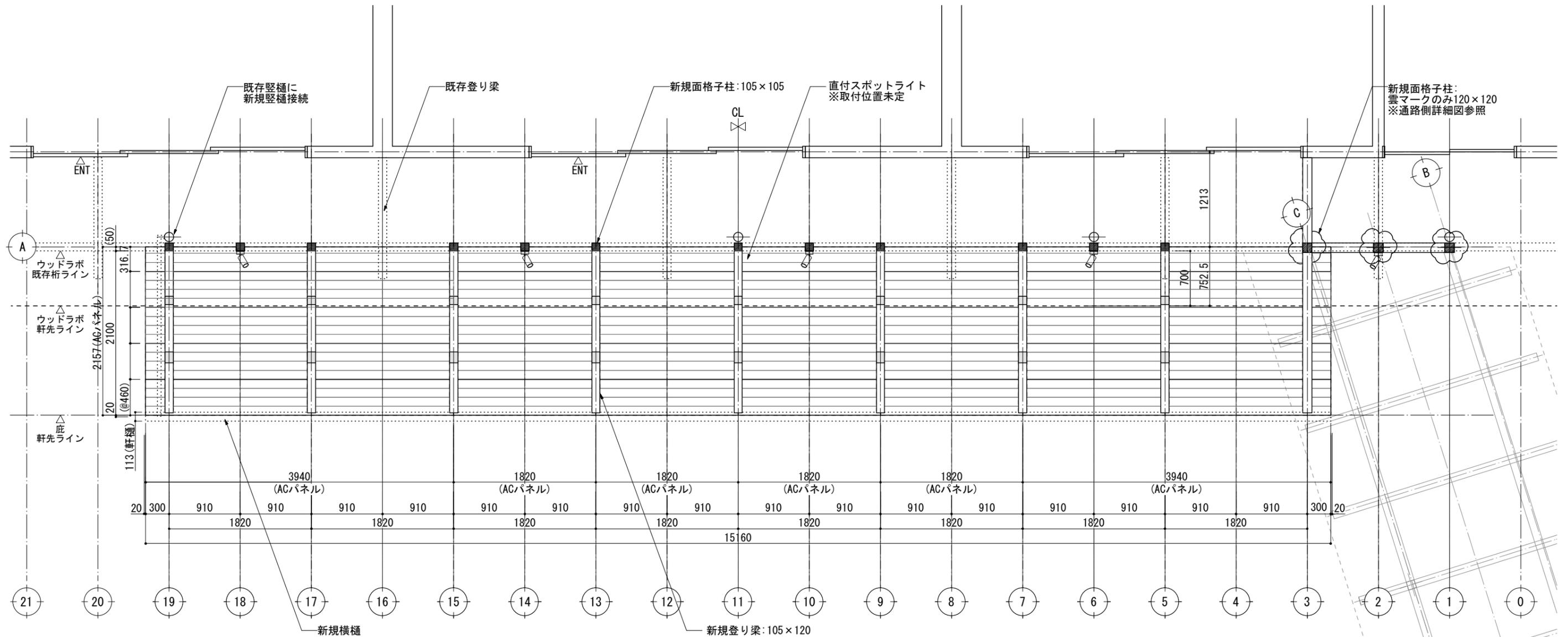
凡例	
□	通し柱
≡	下に柱があることを示す
≡	材の長さを示す(数値は断面寸法を示す)
***	基準天端からの高さを示す 基準天端 GL+3.295 -の桁





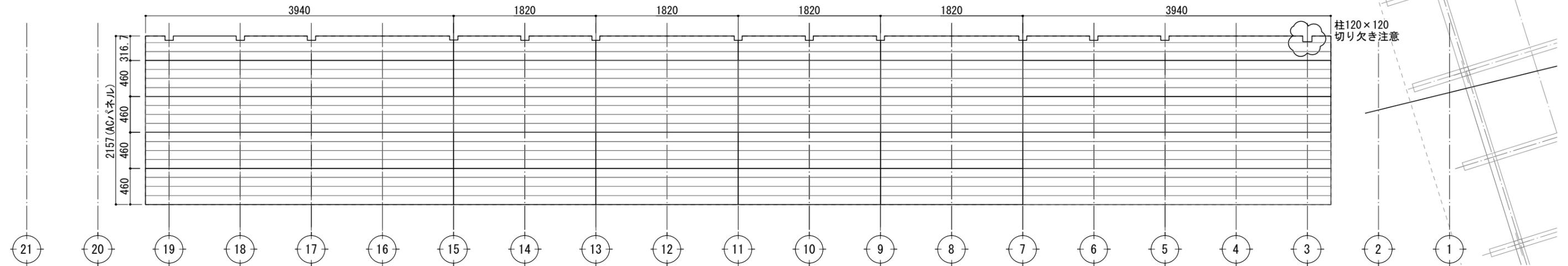
屋根面積 32.55㎡  
 ガルバリウム鋼板 面積 27.31㎡



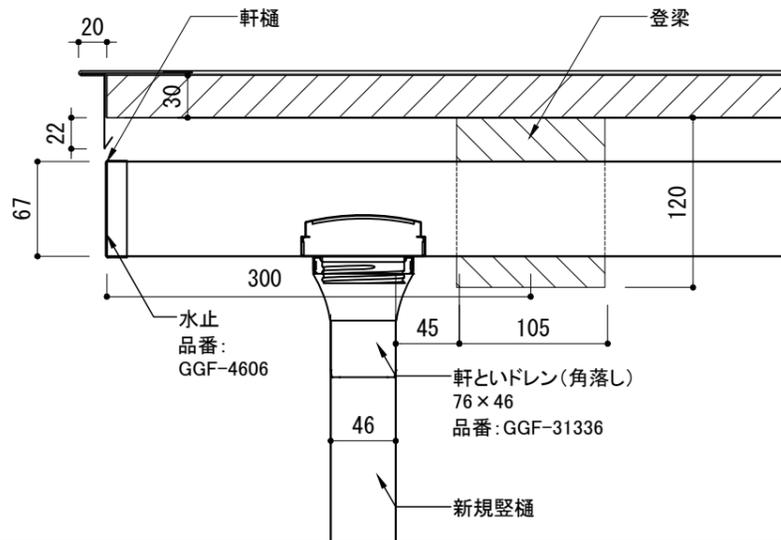


**ACパネル製作数**

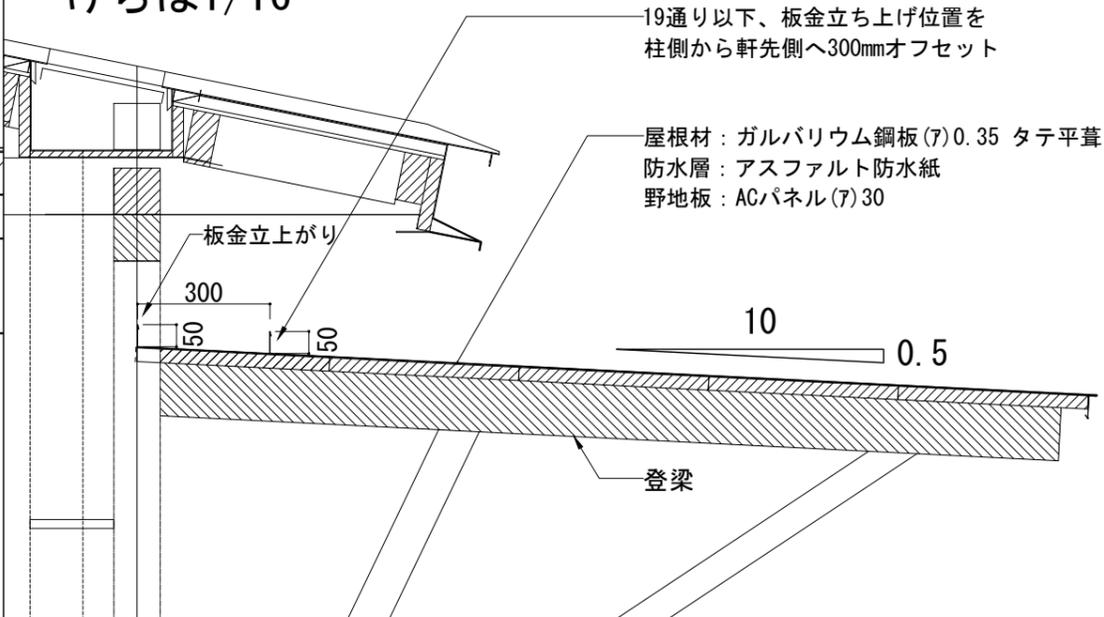
W460×L3940 ×08枚、W316.7×L3940 ×02枚  
 W460×L1820 ×16枚、W316.7×L1820 ×04枚



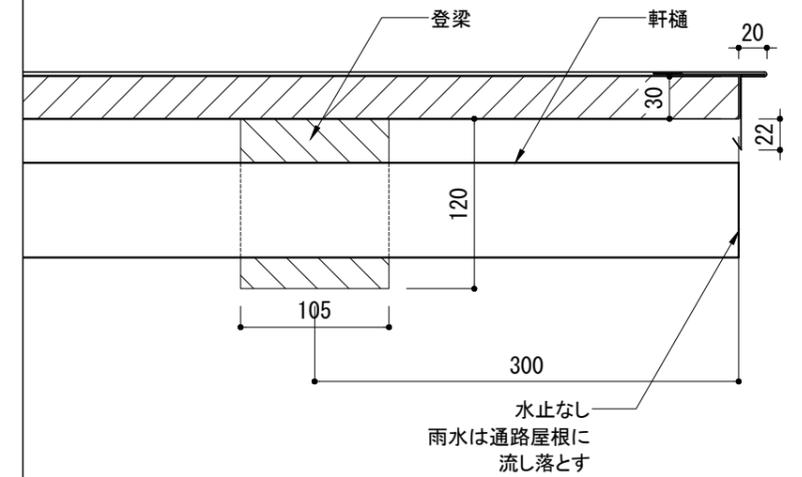
### 西側妻手1/5



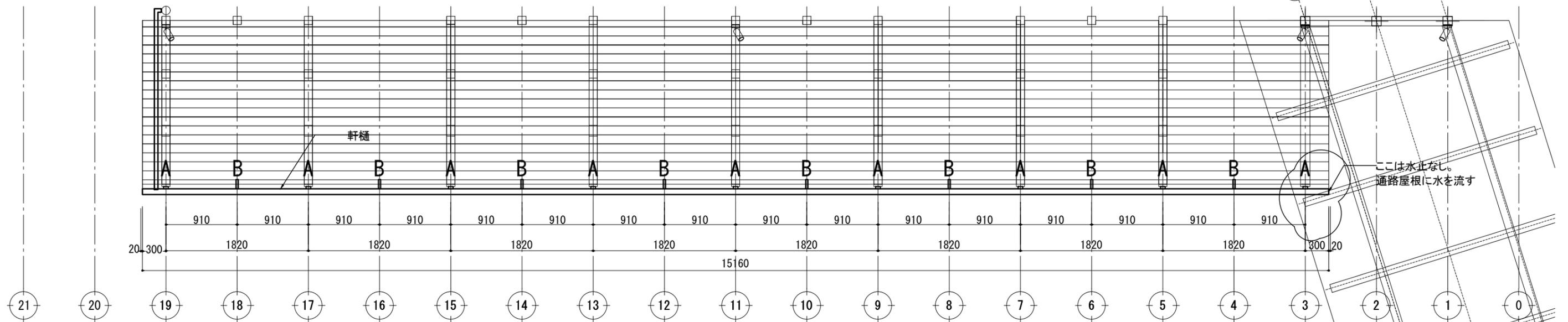
### けらば1/16



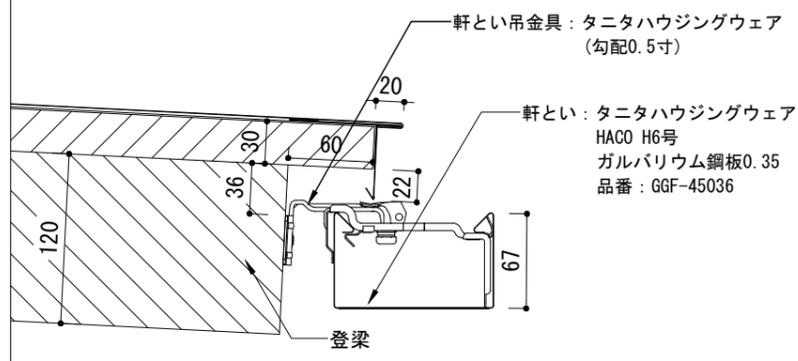
### 東側妻手1/5



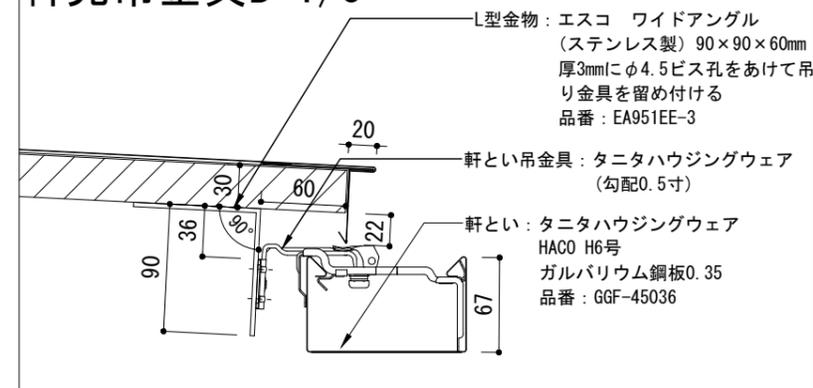
### 軒先、吊金具位置1/50



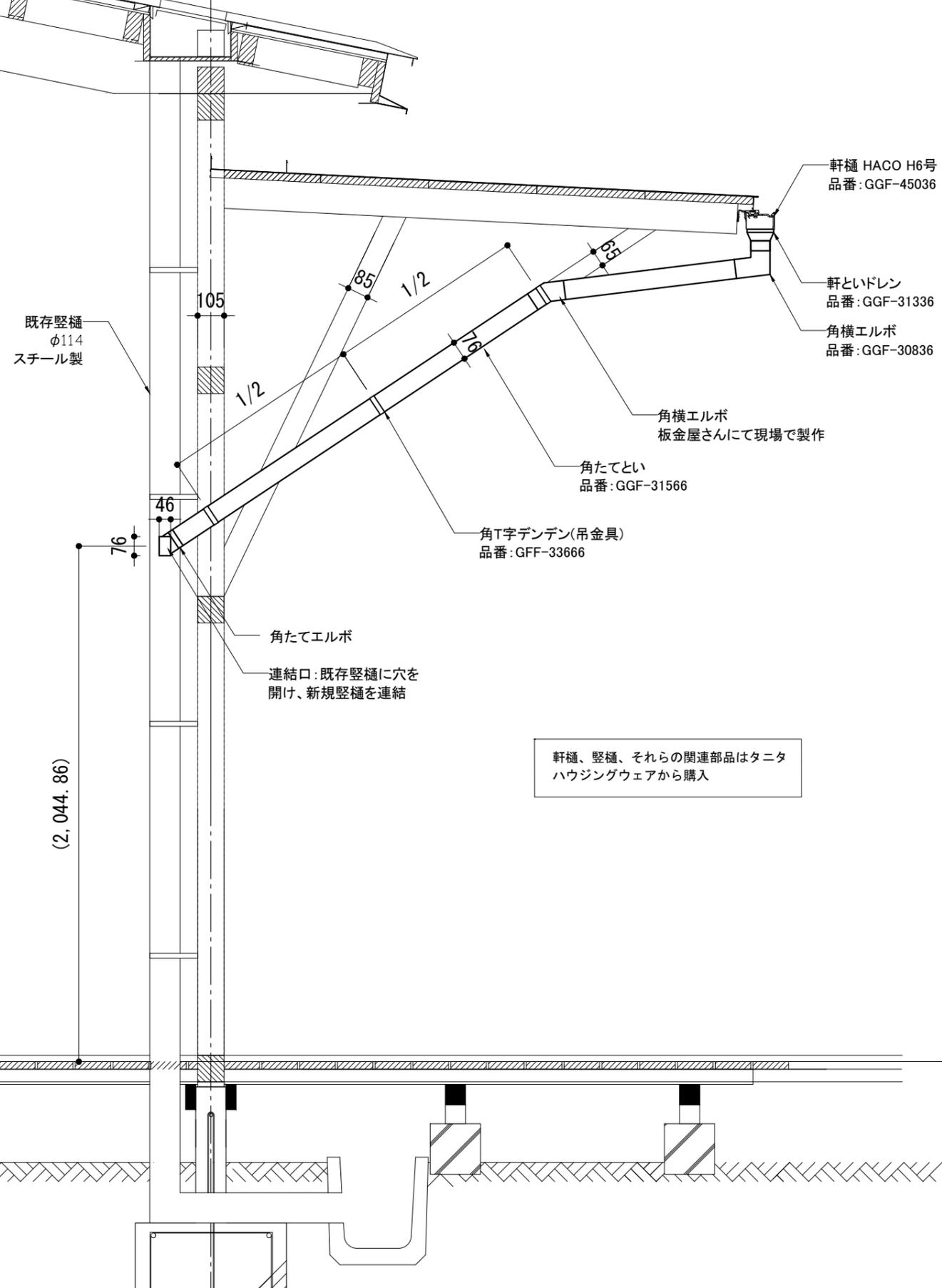
### 軒先吊金具A 1/5



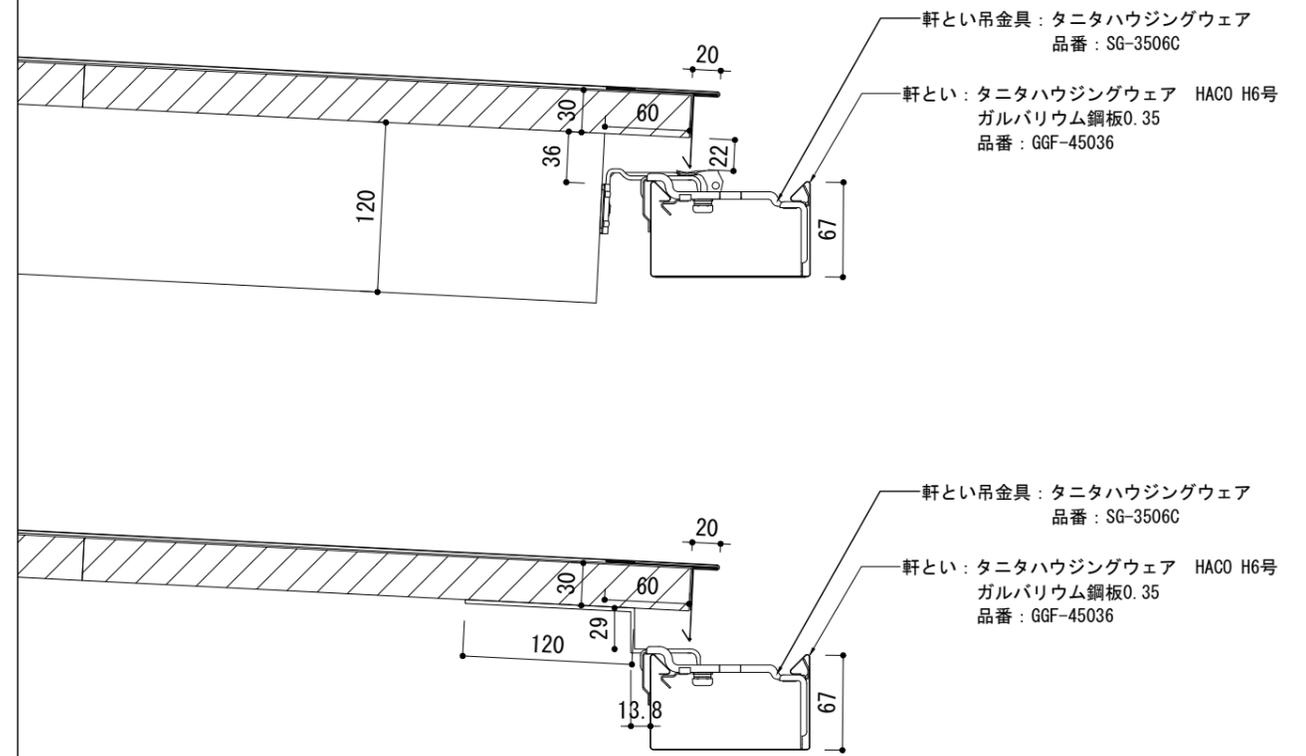
### 軒先吊金具B 1/5



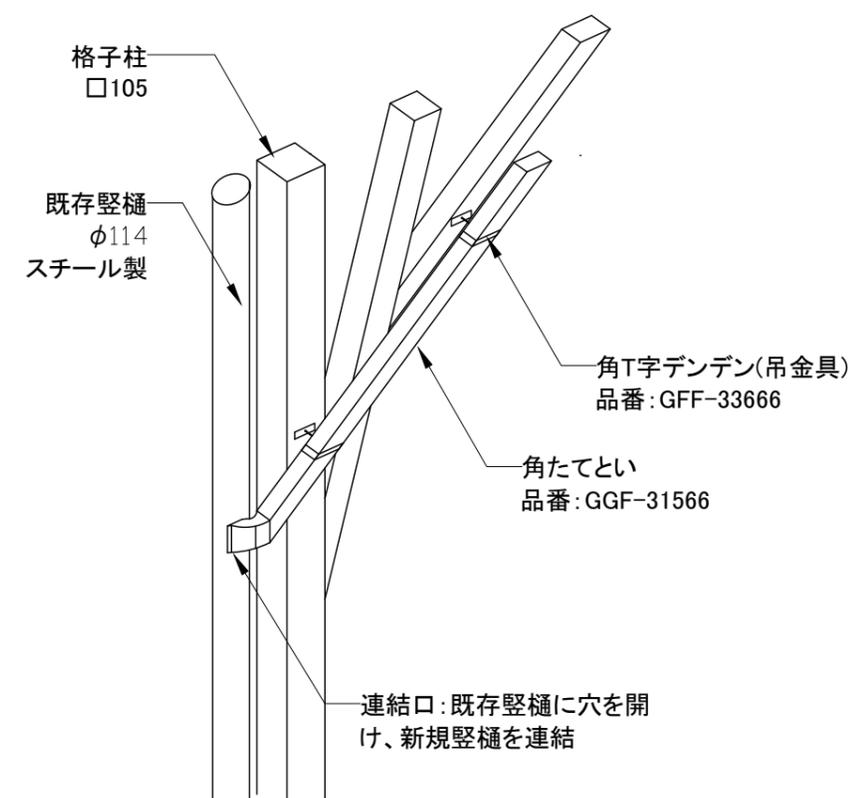
# けらば 1/20



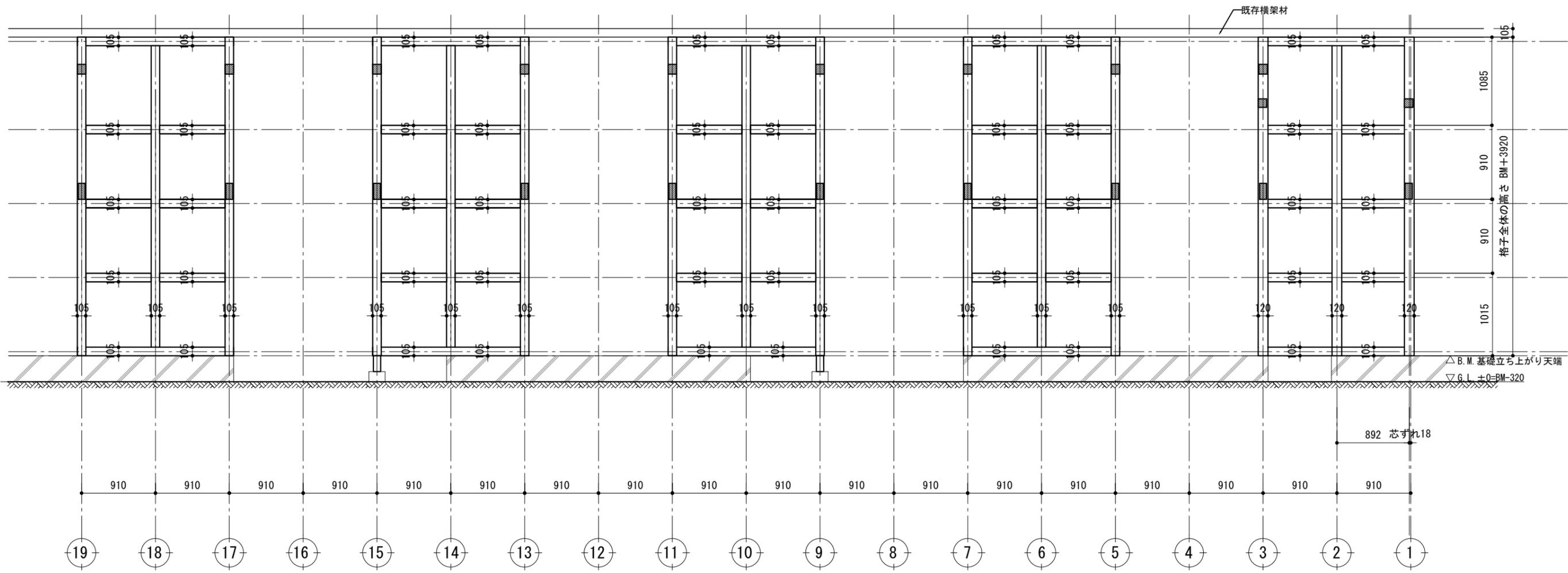
# 軒 1/5



# 連結部詳細図



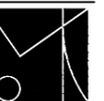
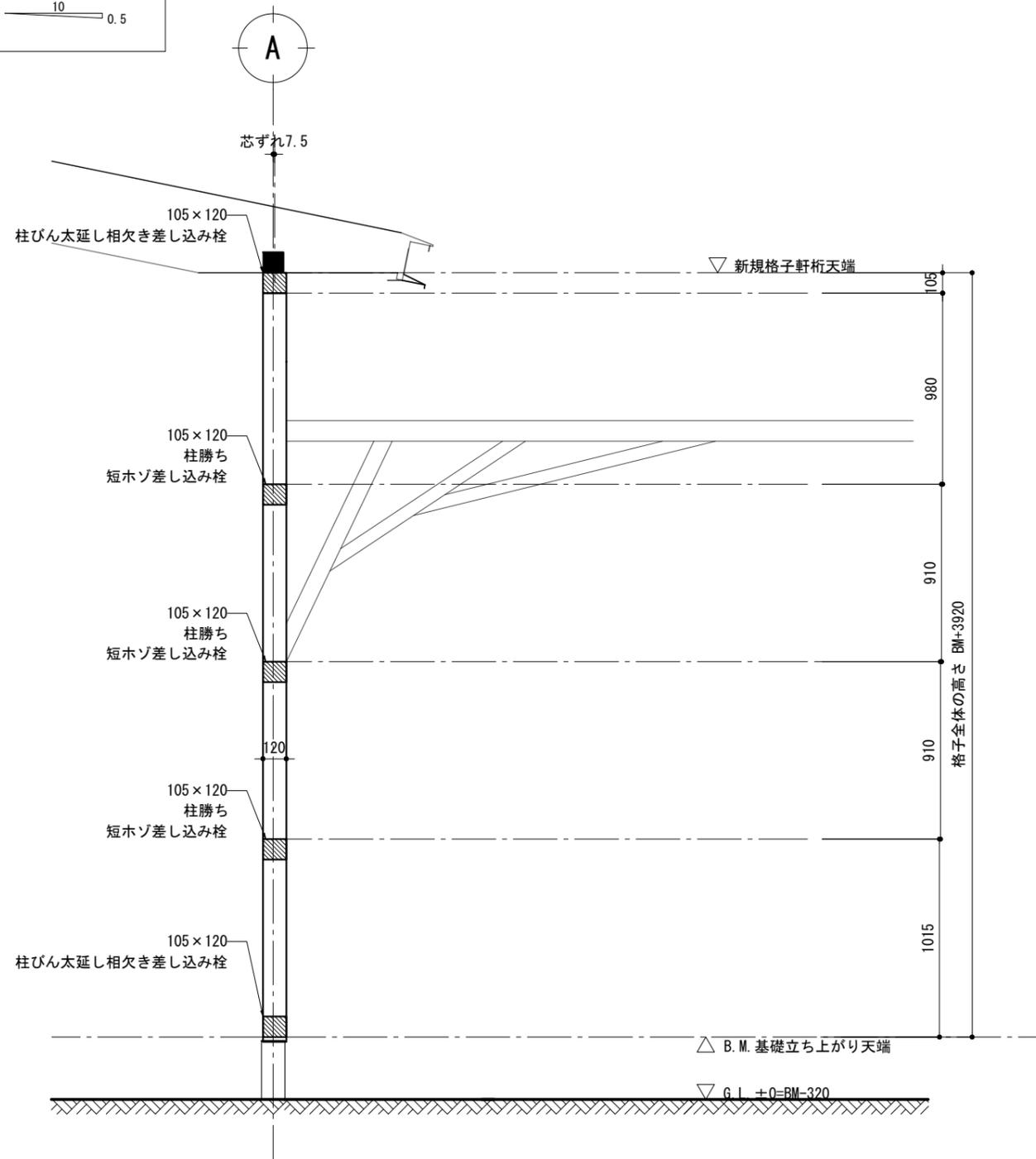
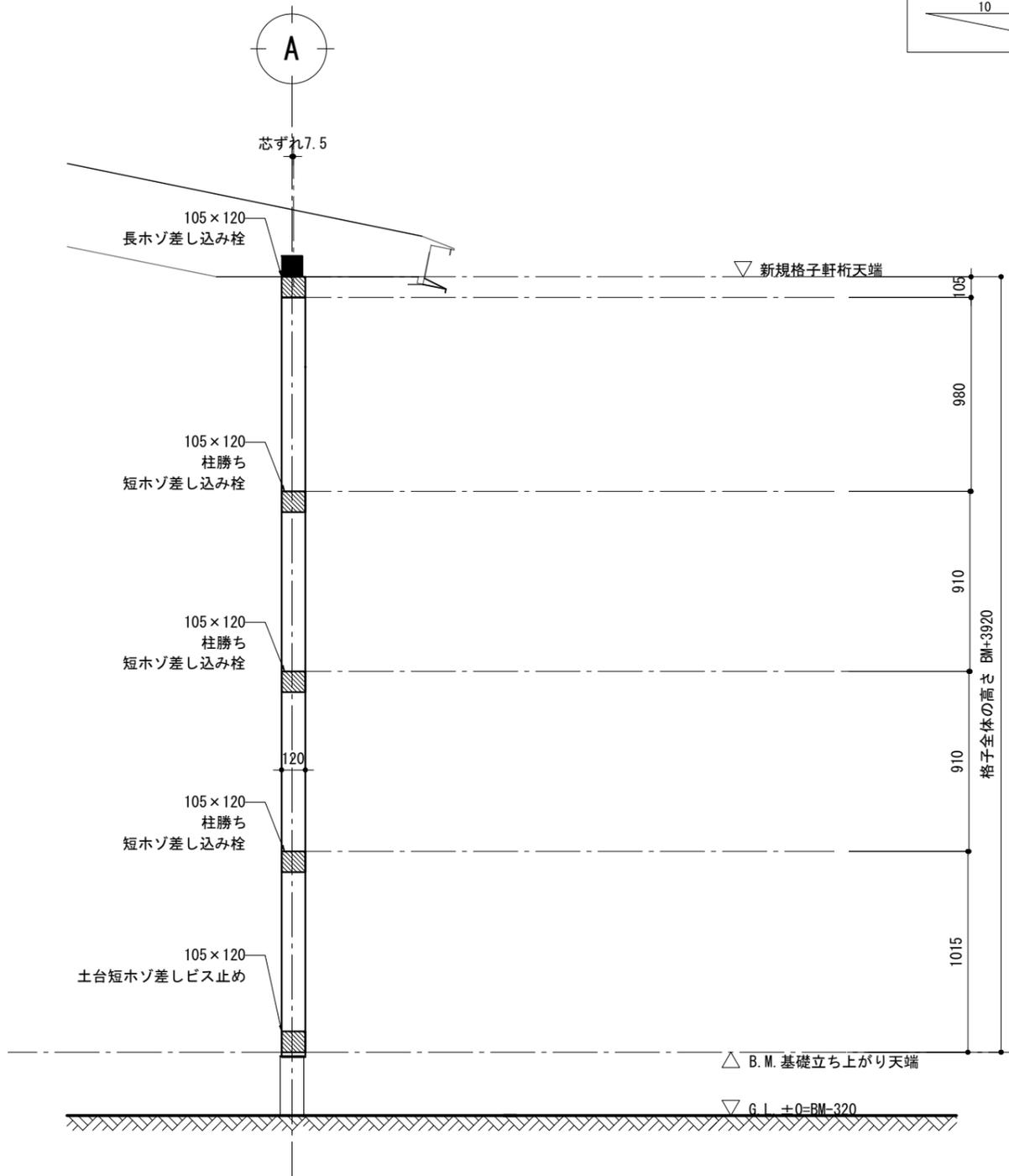




# 2通り軸組図

# 1通り軸組図

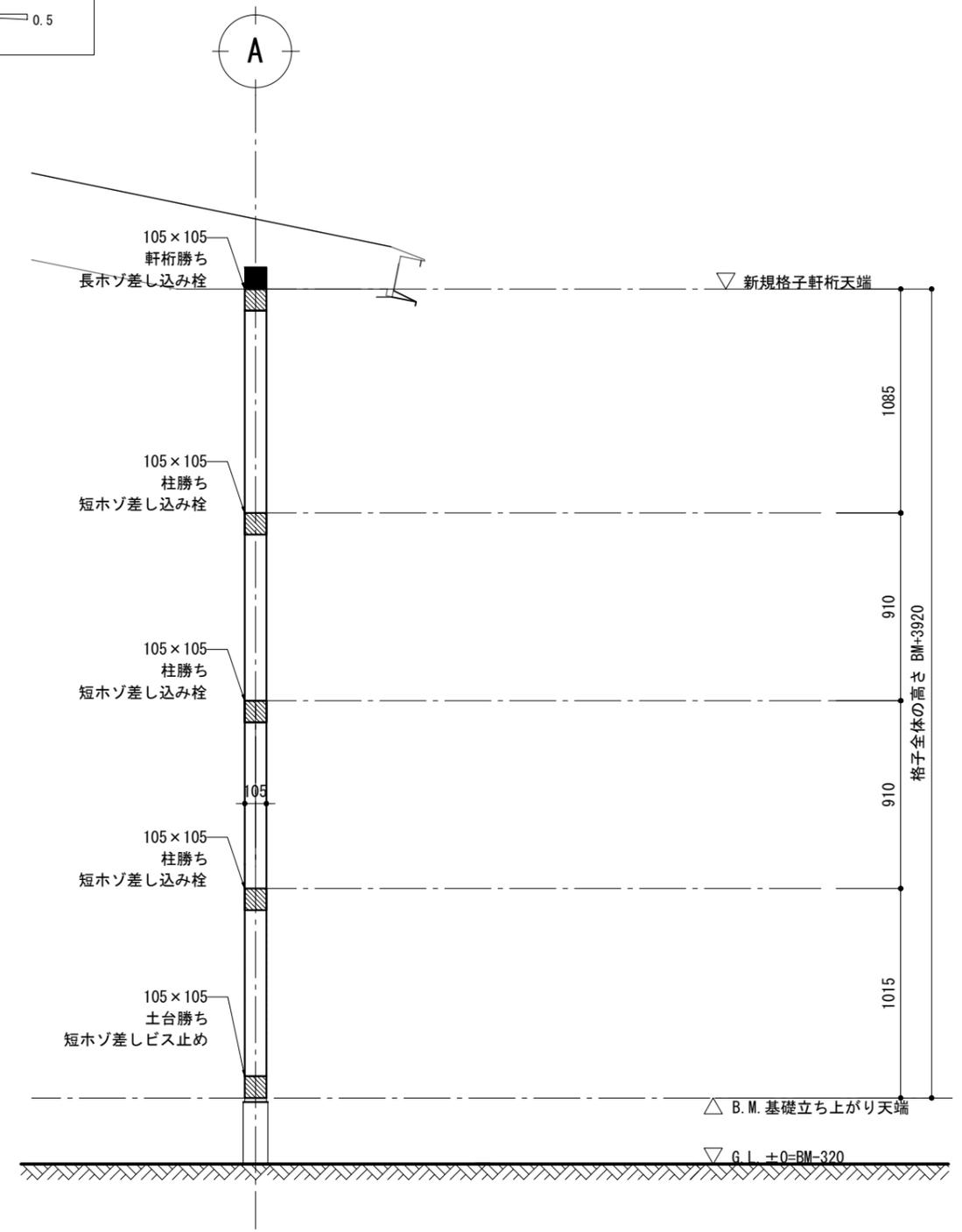
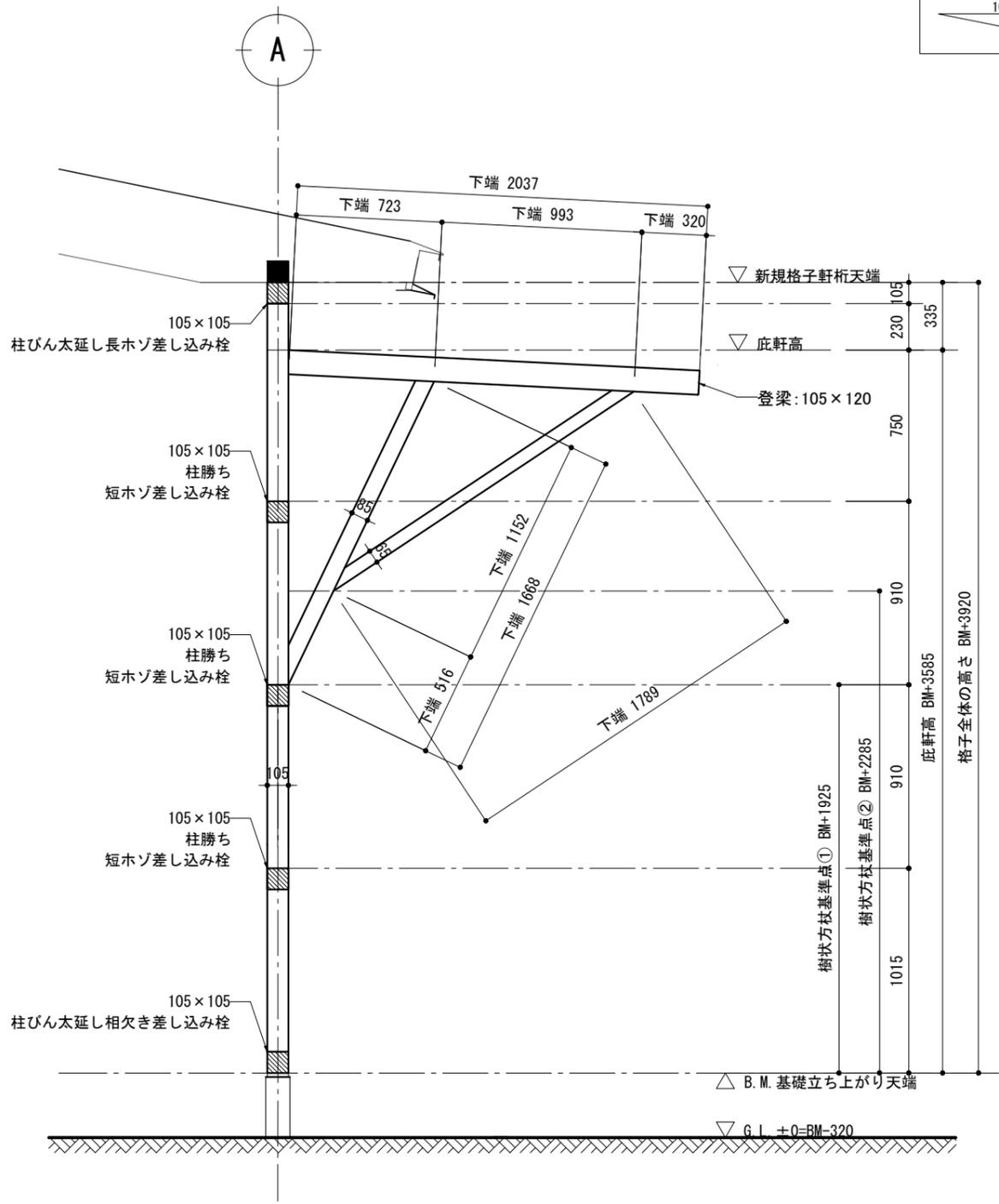
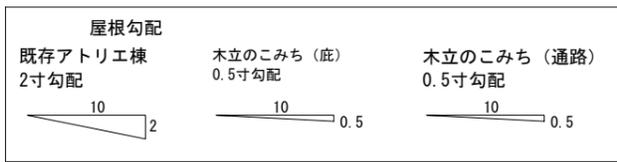
屋根勾配		
既存アトリエ棟 2寸勾配	木立のこみち (庇) 0.5寸勾配	木立のこみち (通路) 0.5寸勾配





# 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19通り軸組図

# 6, 10, 14, 18通り軸組図

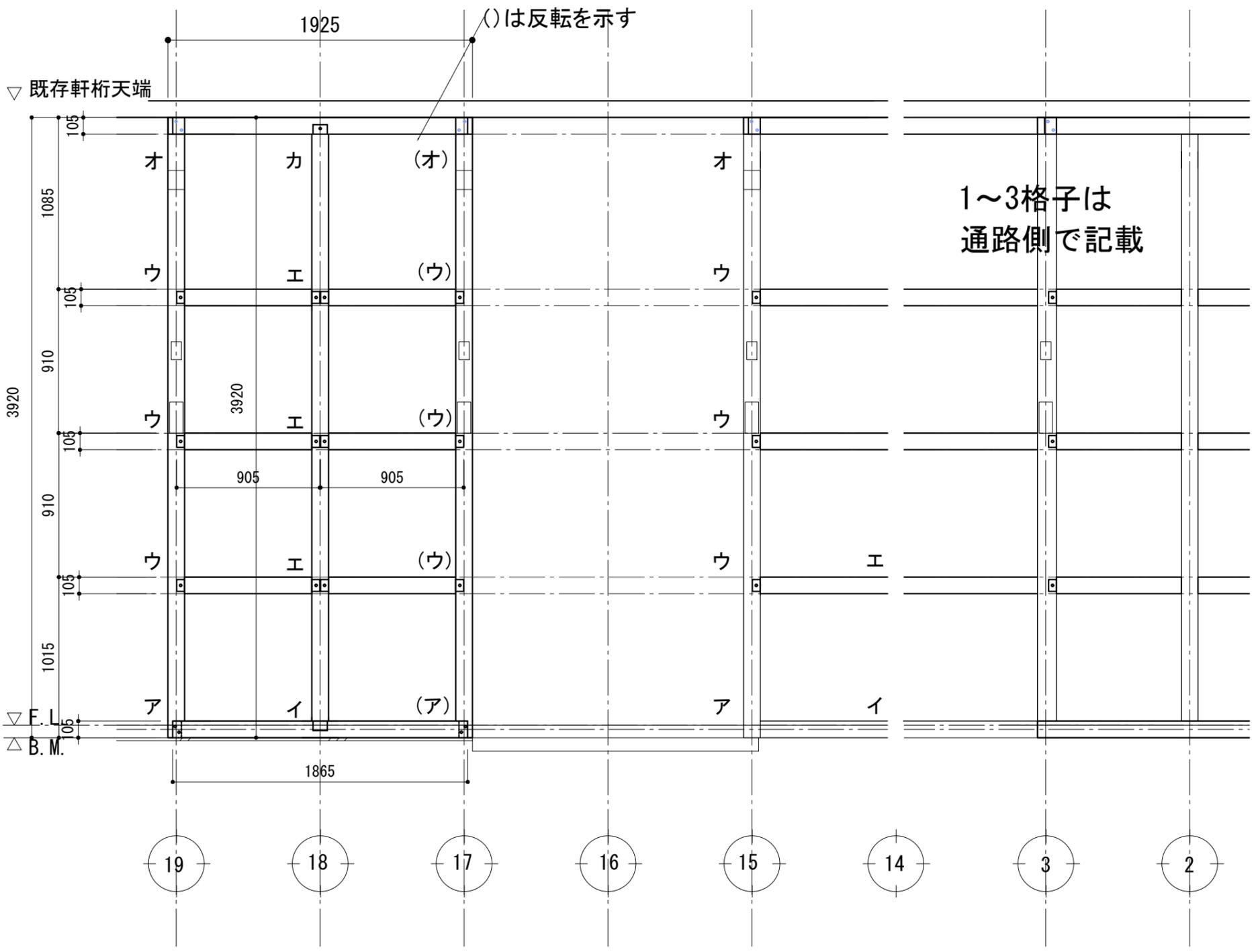


屋根勾配 既存ウッドラボ 2寸勾配	木立のこみち (庇) 0.5寸勾配	木立のこみち (通路) 0.5寸勾配

方杖の開始高さ、寸法等の詳細は軸組図を参照

接合部詳細 a~e  
(該当 : 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19通り)

接合分詳細 f, g (該当 : 3通り)

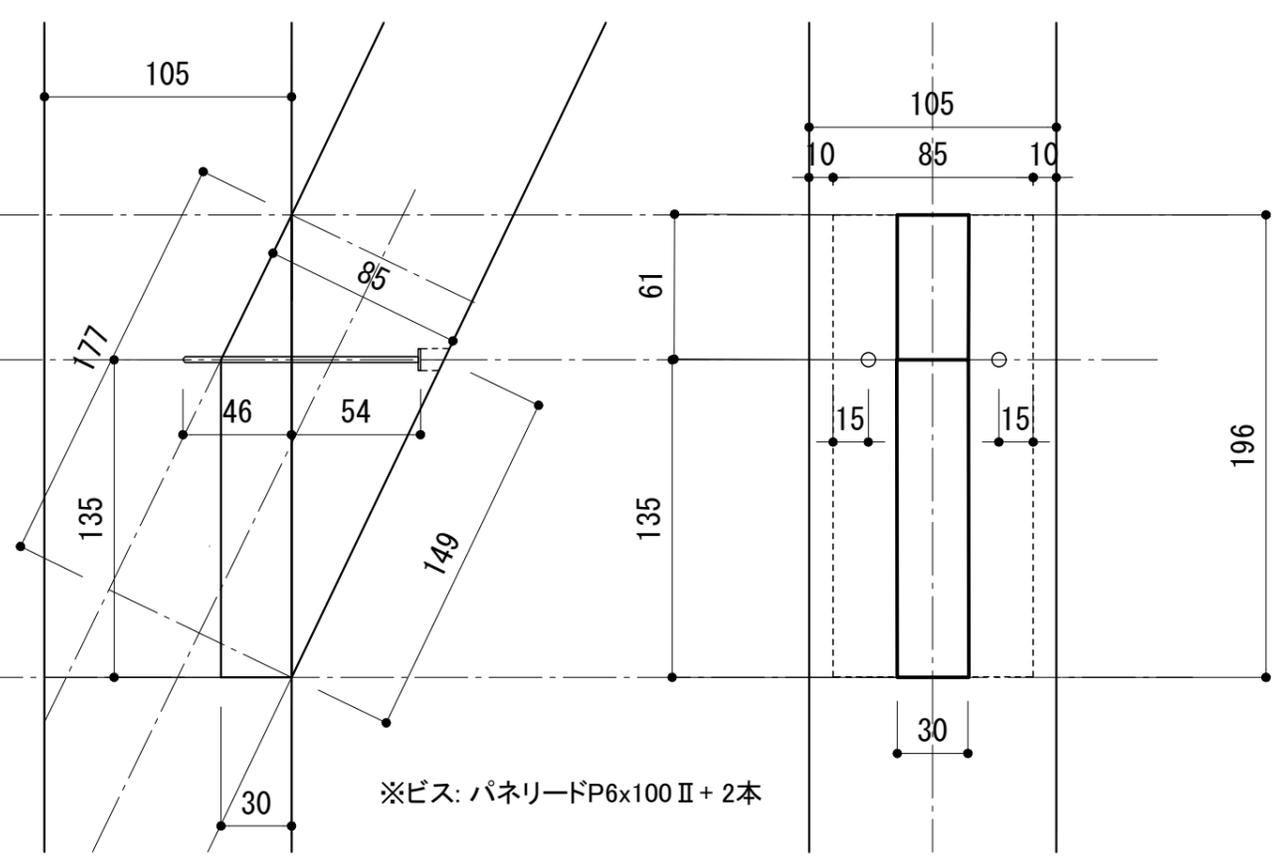


1~3格子は通路側で記載

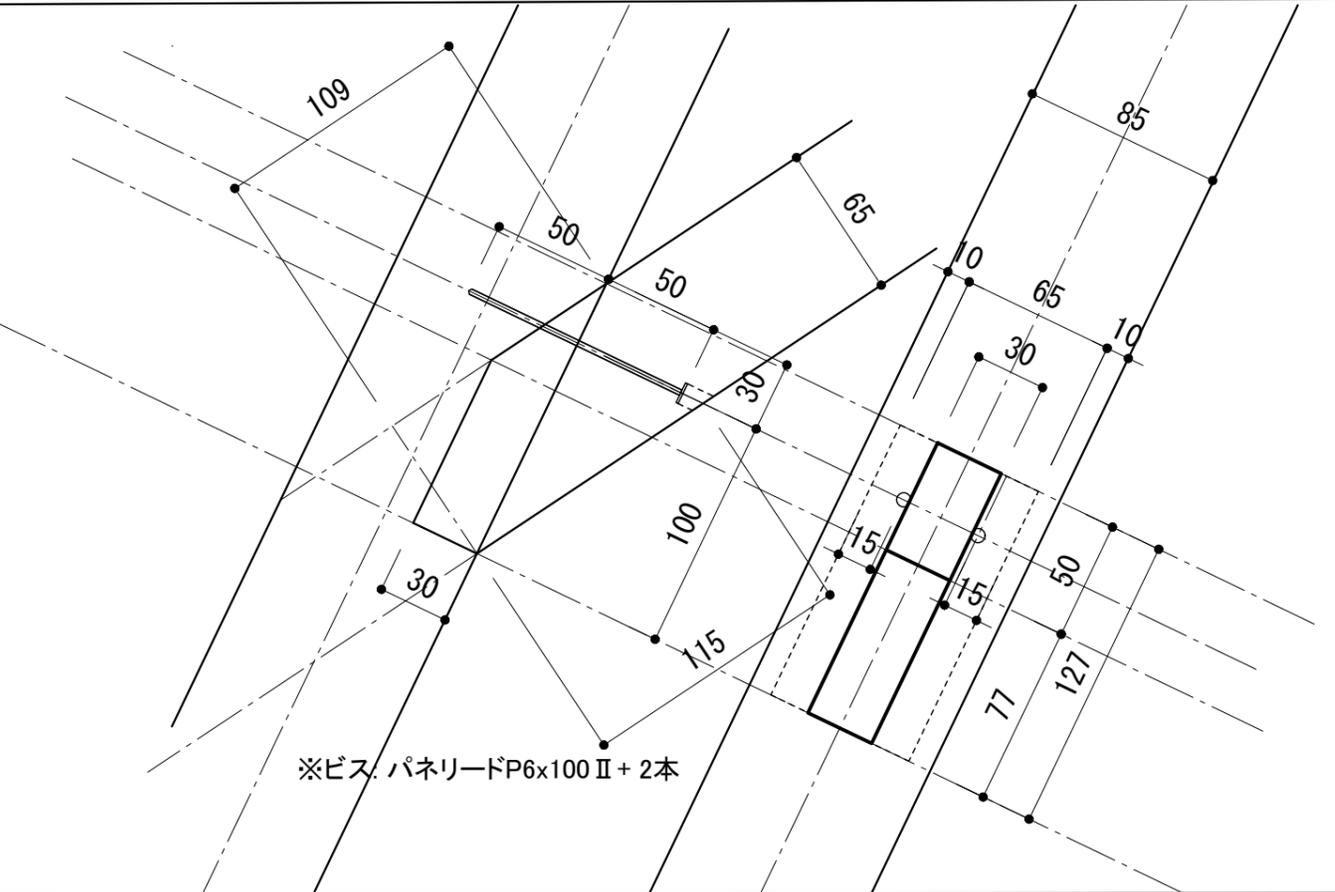
- |                            |  |  |
|----------------------------|--|--|
| ①樹状方杖 a-b : 8本<br>c-d : 8本 | ④柱(17通り)と接合詳細が共通の柱 : 13, 9, 5 合計4本<br>⑤柱(18通り)と ~ : 14, 10, 6 合計4本<br>⑥柱(19通り)と ~ : 15, 11, 7 合計4本 | ⑦格子横材 : 6本×4格子分 合計24本<br>⑧土台 : 4本<br>⑨柱頭つなぎ : 4本 |
|----------------------------|--|--|

※③以外 : 1~3通りの本数を除いた本数

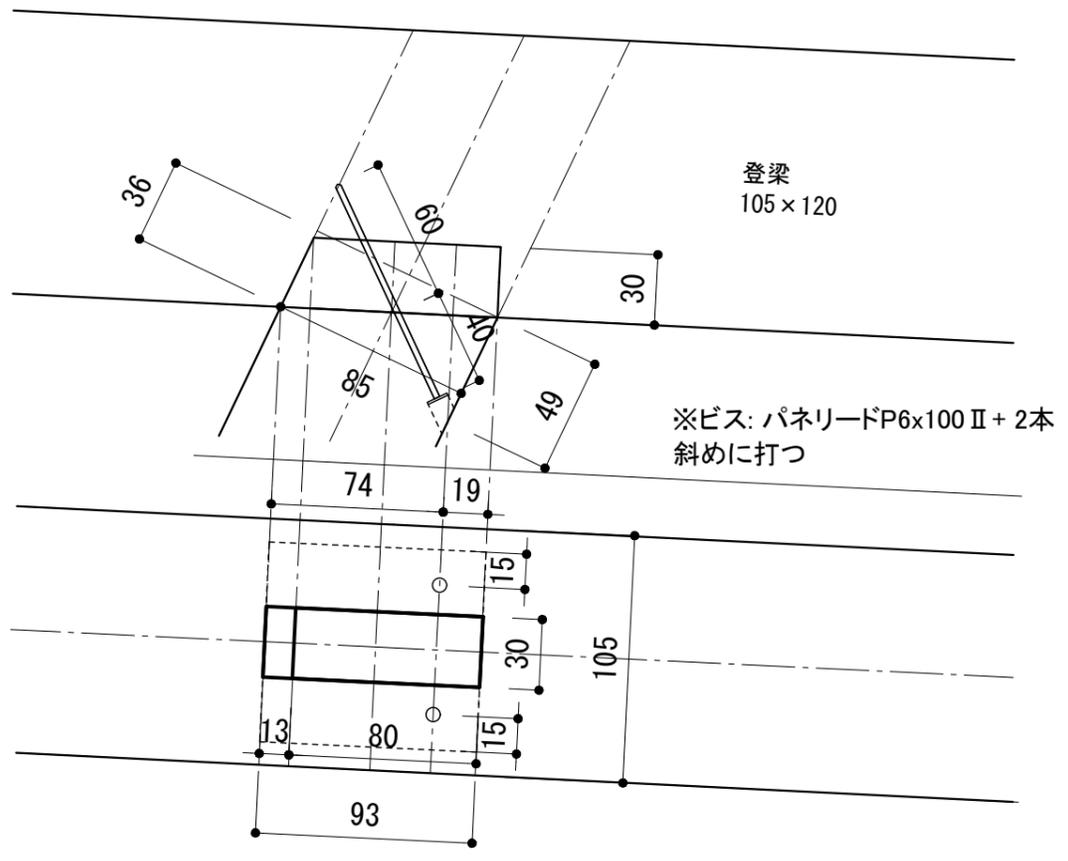
a 柱/方杖85角 短ホゾ差し



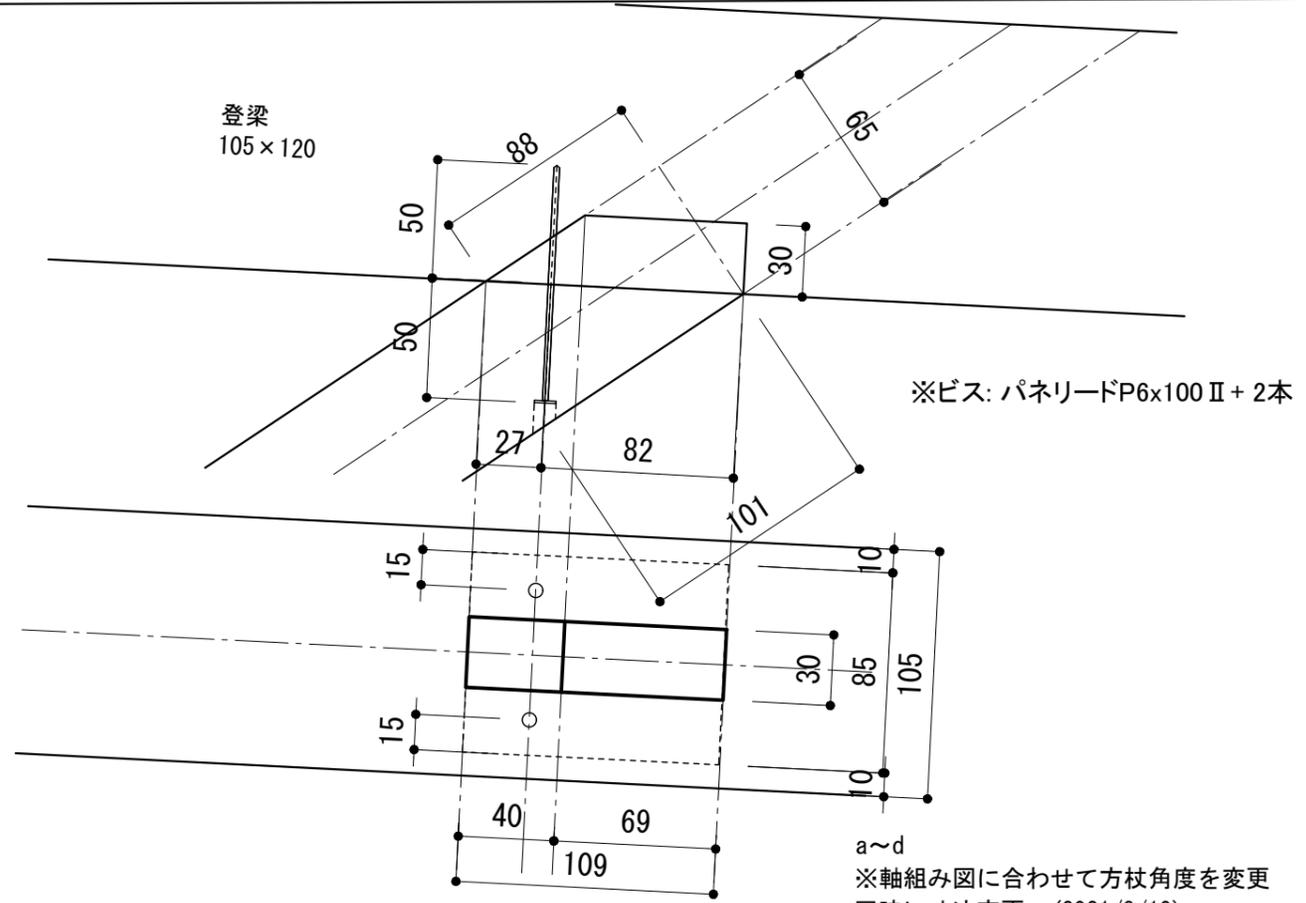
c 方杖85角/方杖65角 短ホゾ差し



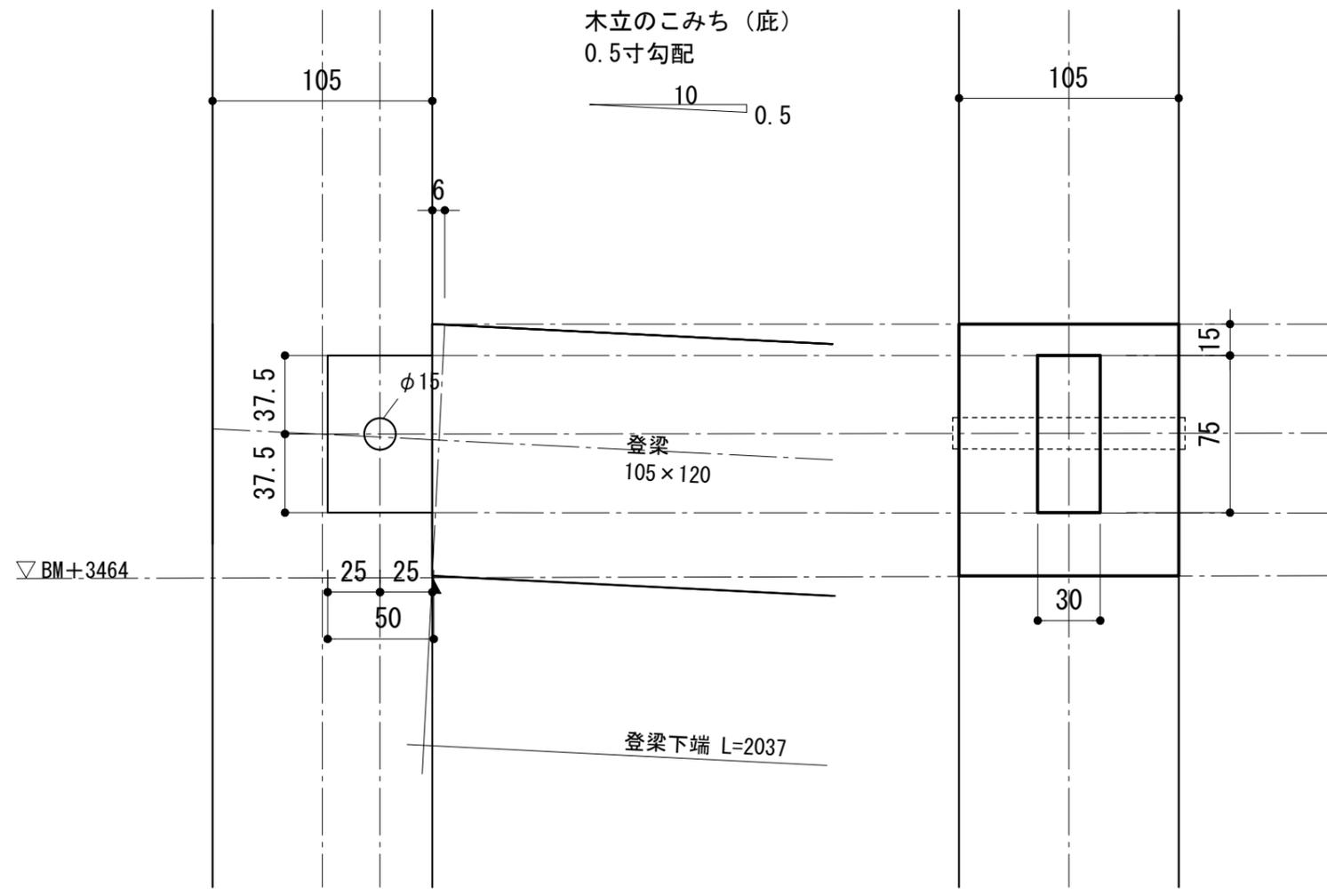
b 方杖85角/登梁 短ホゾ差し



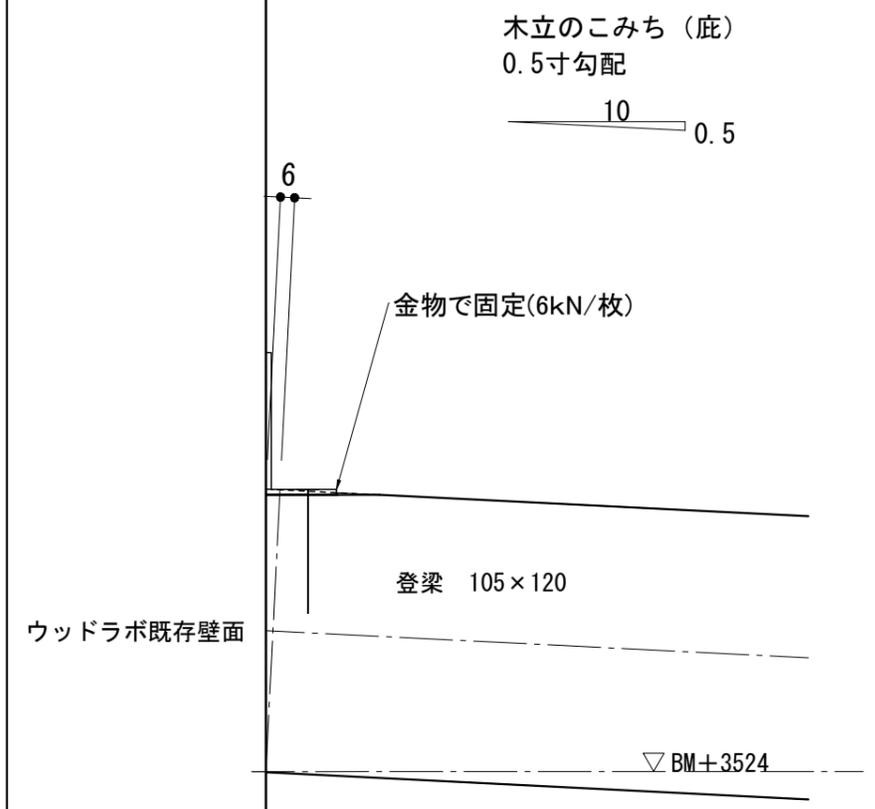
d 方杖65角/登梁 短ホゾ差し



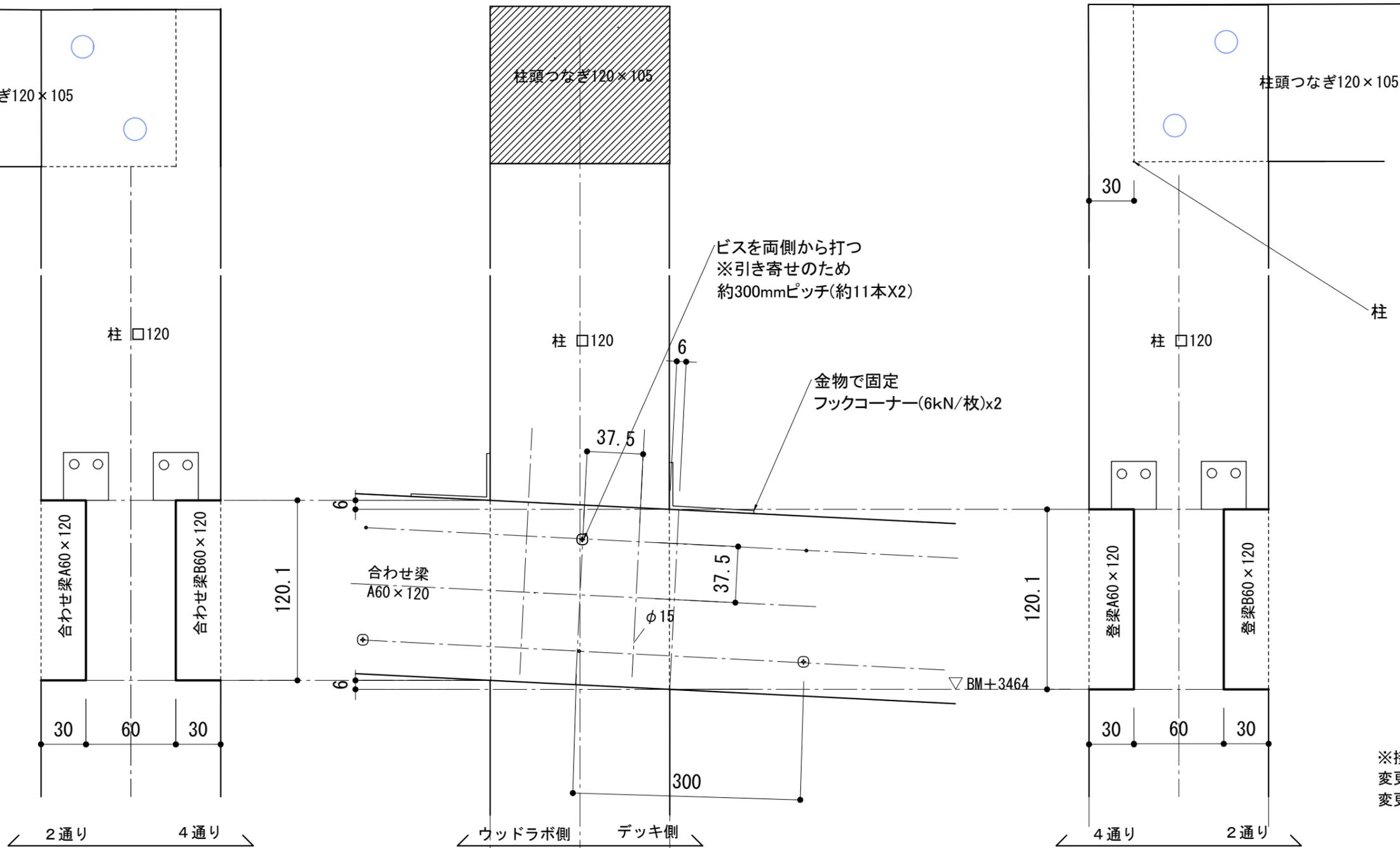
a~d  
※軸組み図に合わせて方杖角度を変更  
同時に寸法変更 (2021/8/10)



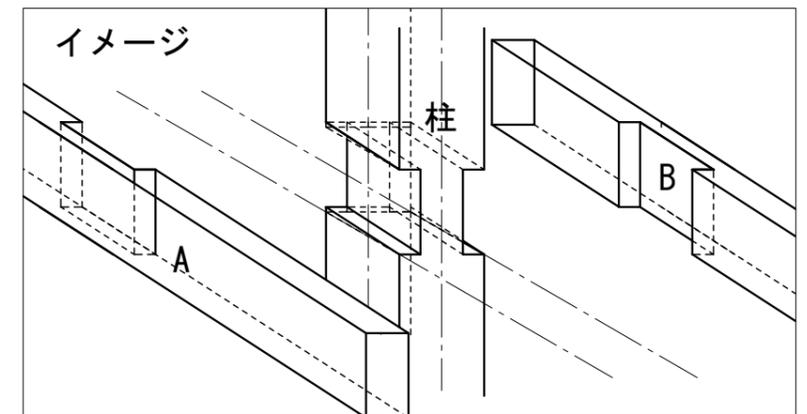
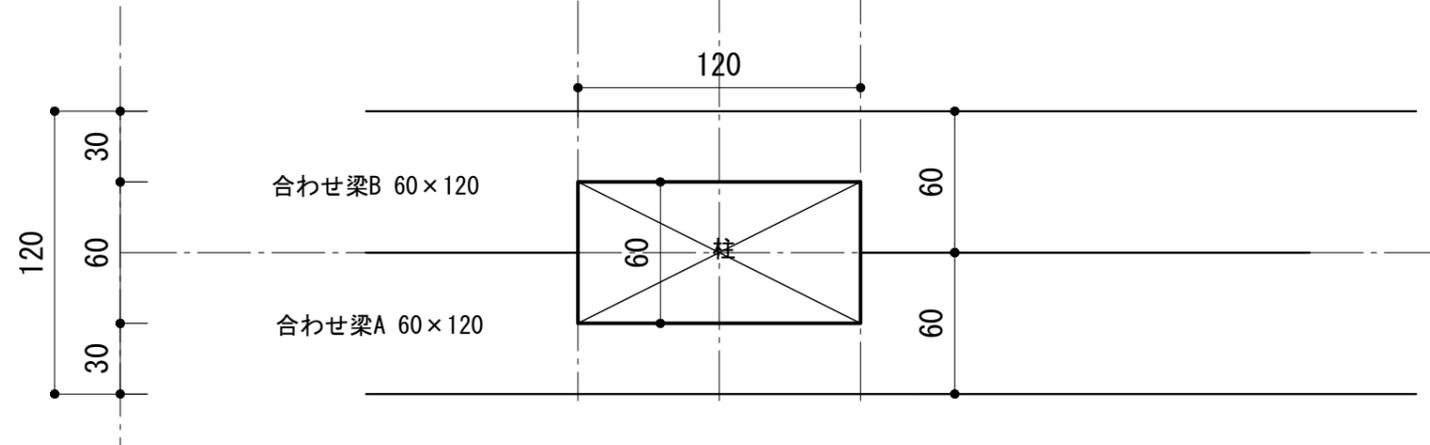
※構造的な理由から、ホゾの位置を上端から15mmに変更(2021/9/10)



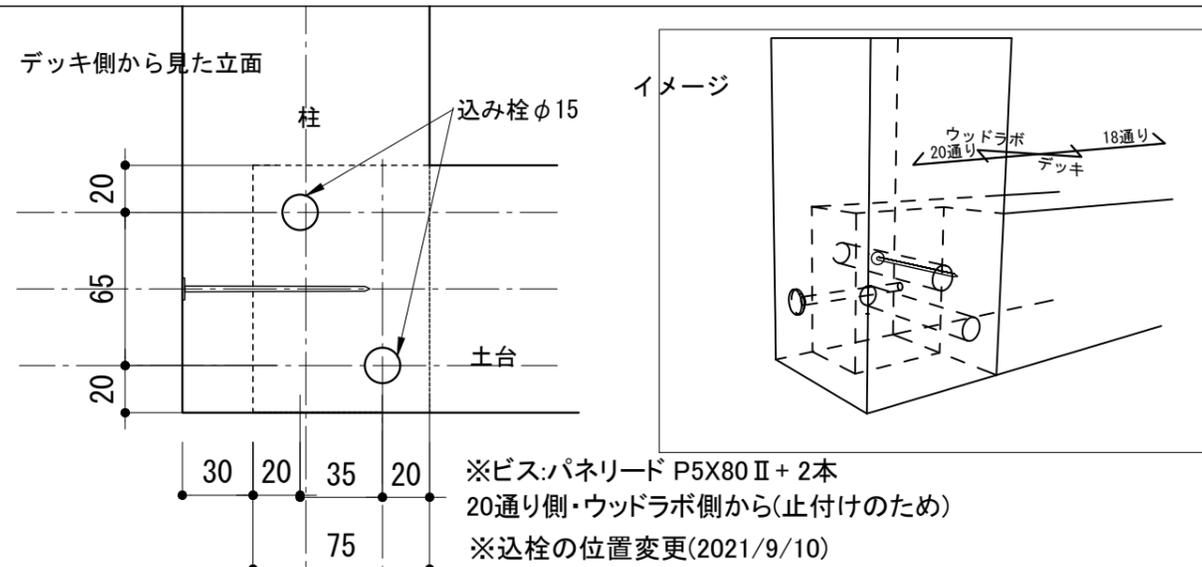
木立のこみち (底)  
0.5寸勾配  
10 0.5



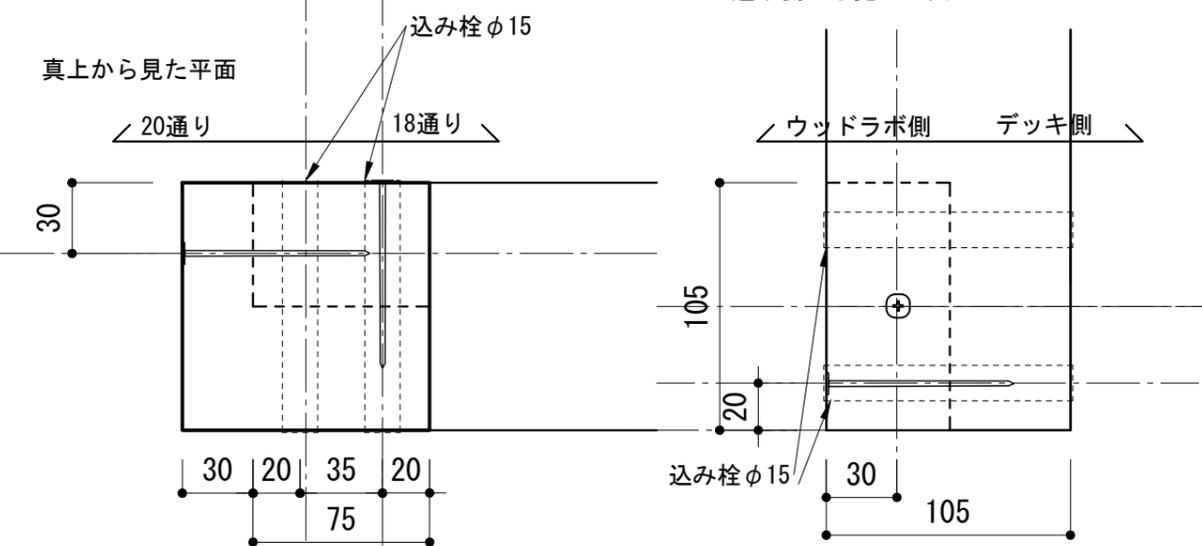
※接合方法を変更  
変更前：込栓+ビス  
変更後：金物+ビス (2021/9/10)



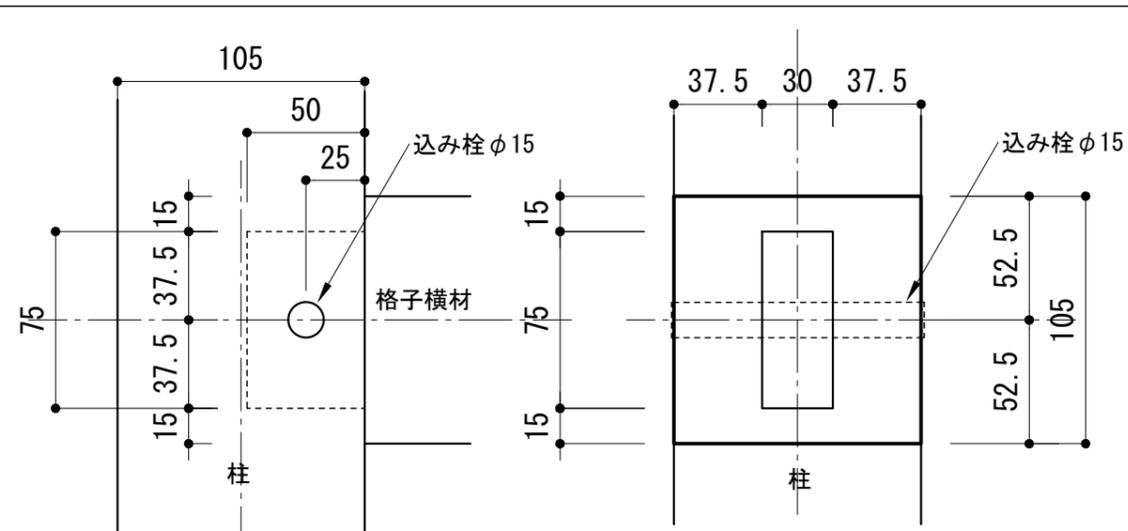
ア 格子\_柱(両端)/土台 柱びん太延し相欠き込み栓(例:19通り)



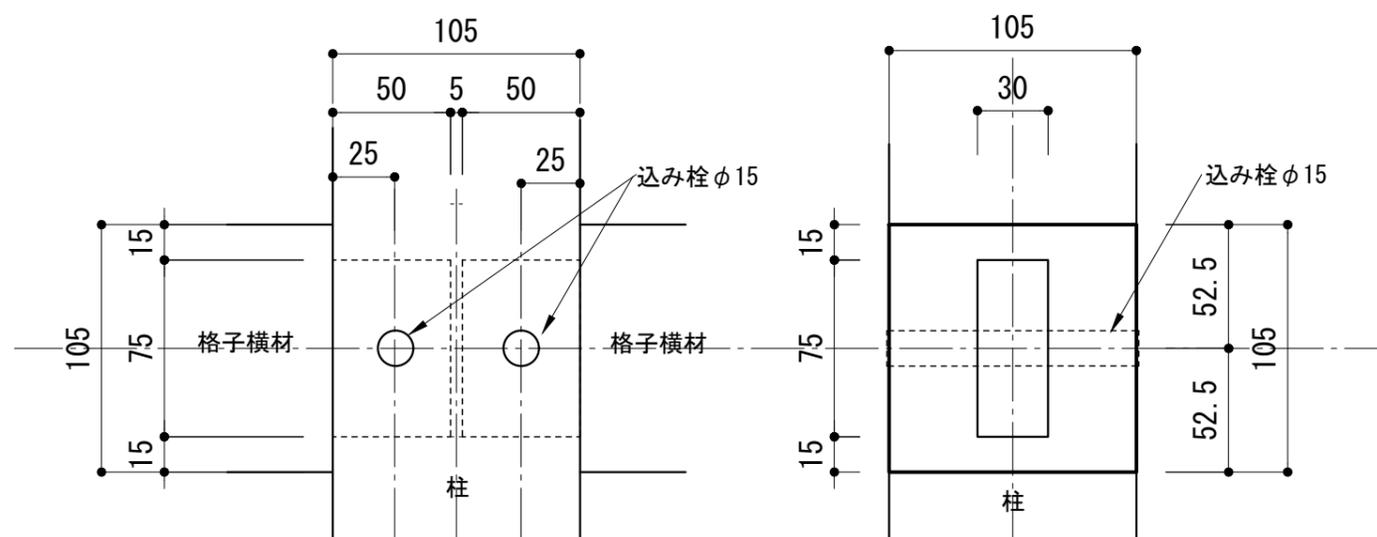
20通り側から見た立面



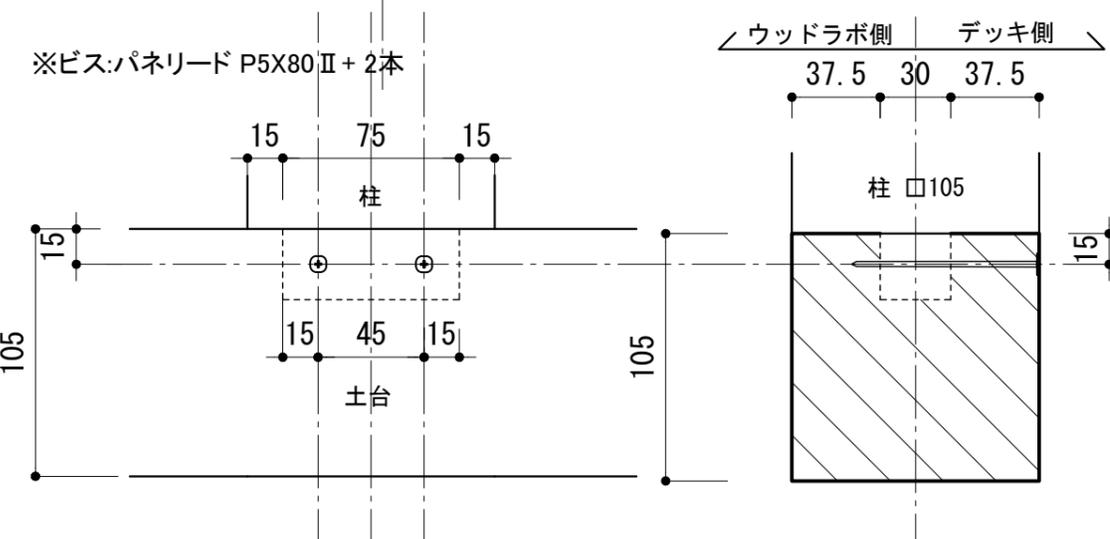
ウ 格子\_柱(両端)/格子横材 短ホゾ差し込み栓



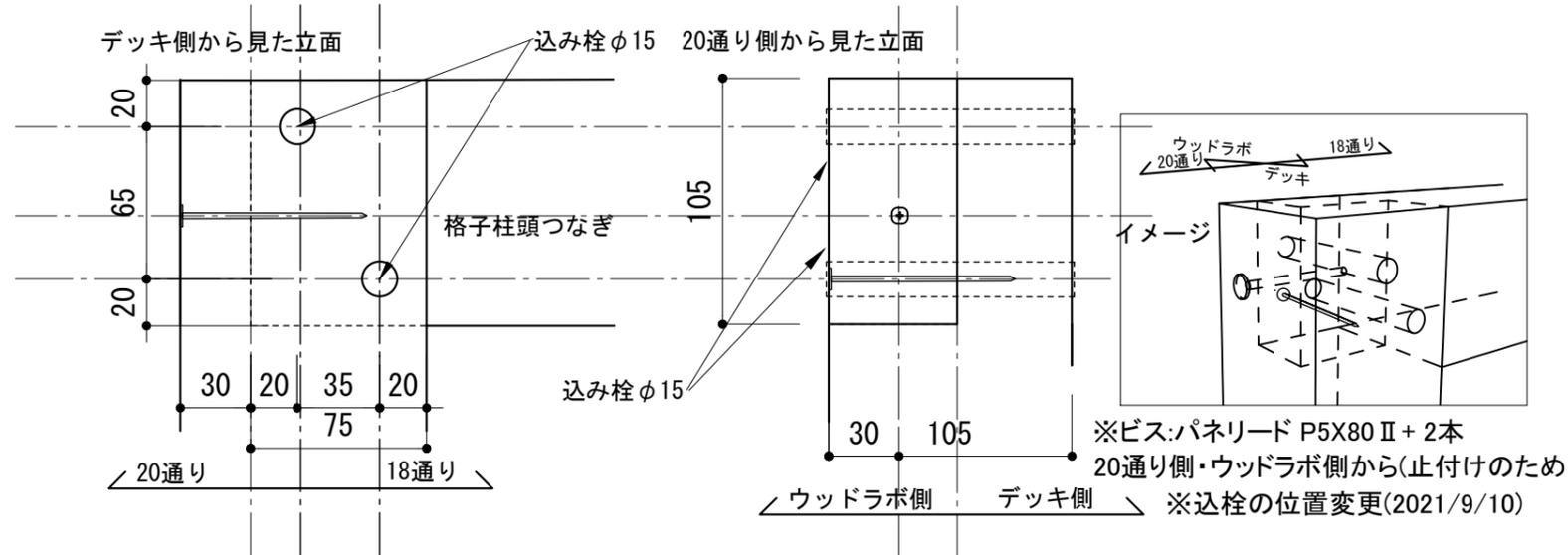
エ 格子\_柱(中央)/格子横材 短ホゾ差し込み栓



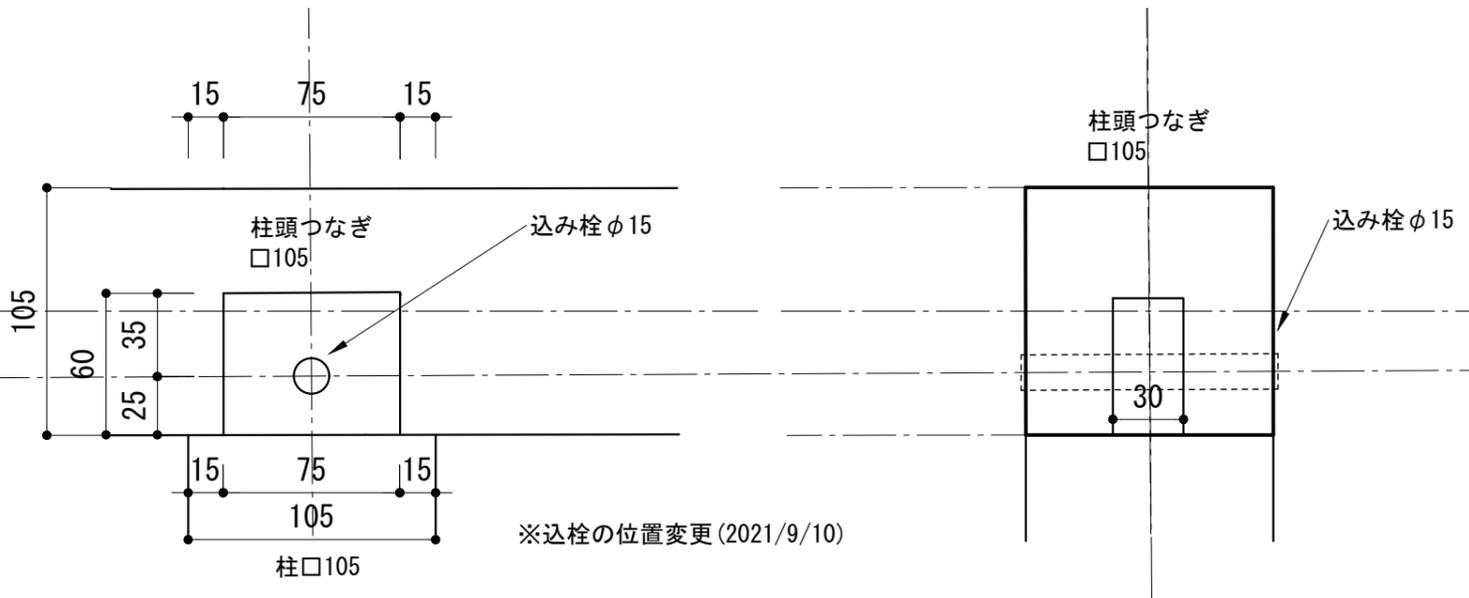
イ 格子\_柱(中央)/土台 短ホゾビス留め



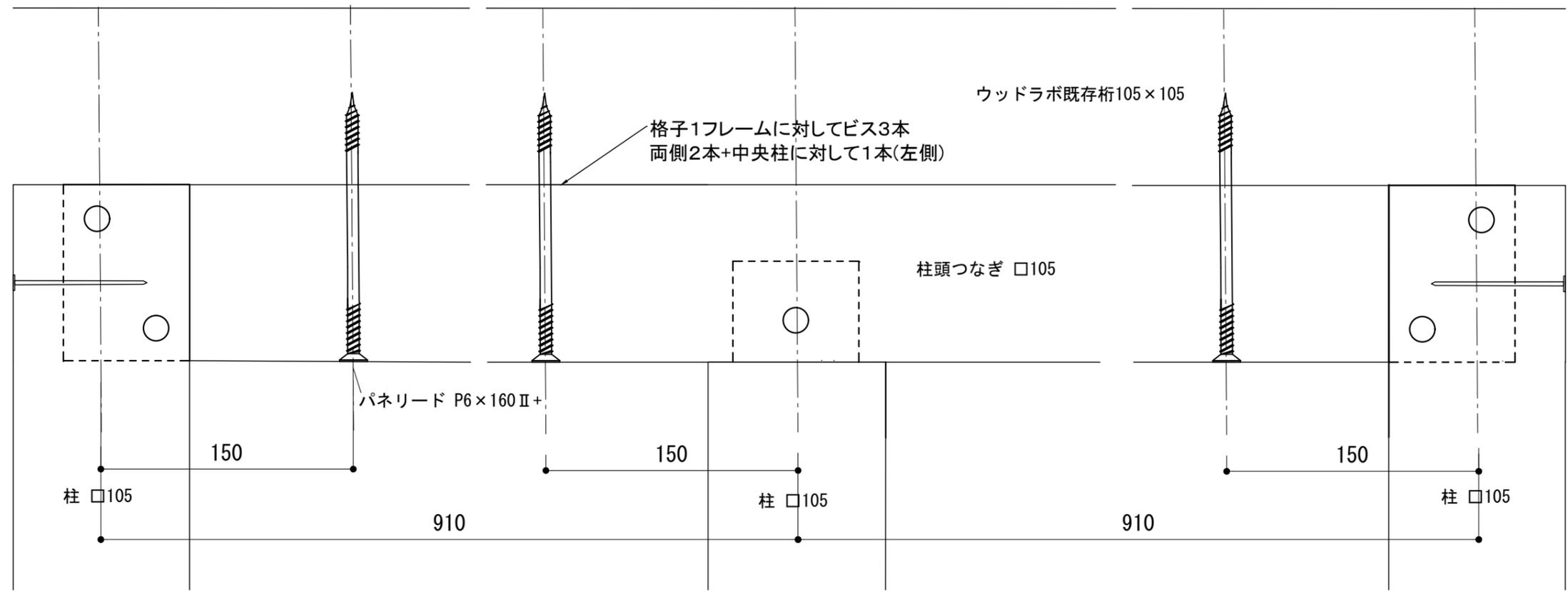
オ 格子上端\_柱(両端)/頭つなぎ 柱びん太延し相欠き込み栓(例:19通り)

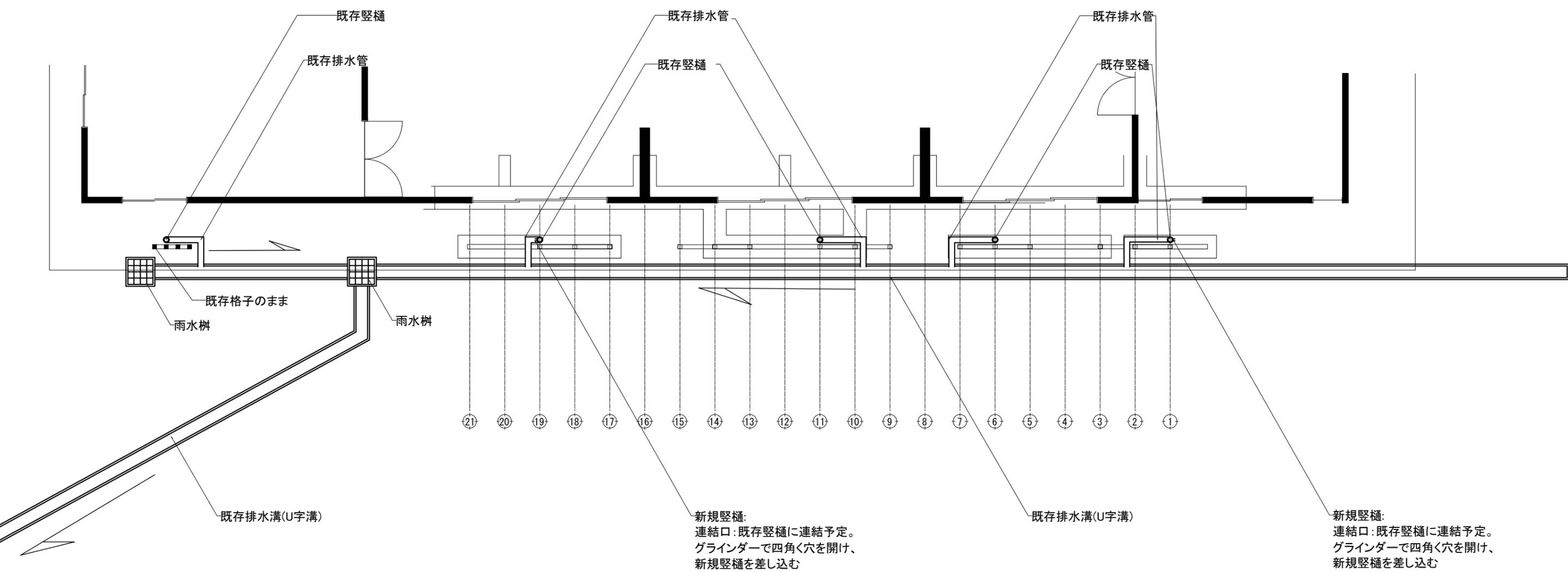


カ 格子上端\_柱(中央)/頭つなぎ 長ホゾ差し込み栓



キ 格子上端\_頭つなぎ/ウッドラボ既存桁との接合





既存コンセントは既存格子と合わせて撤去。  
その配線を新規のコンセントに利用。

建物内分電盤へ

既存コンセント  
(格子2.7mの位置)

4500

12000

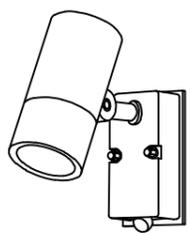
人感センサー範囲  
奥行方向：4.5m 幅方向：12m

※エリアマスクA使用  
※感知エリア正面の場合

凡例

-  センサー付きスポットライト：DAIKO DOL-4601YB
-  コンセント（防水カバー付き）

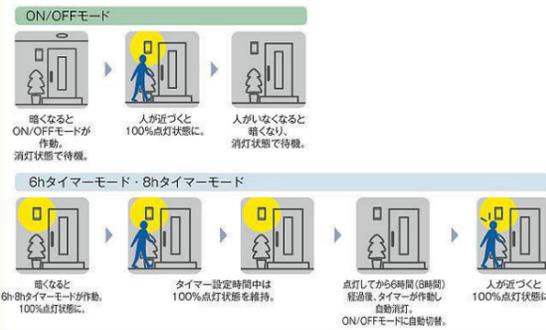
スポットライト詳細



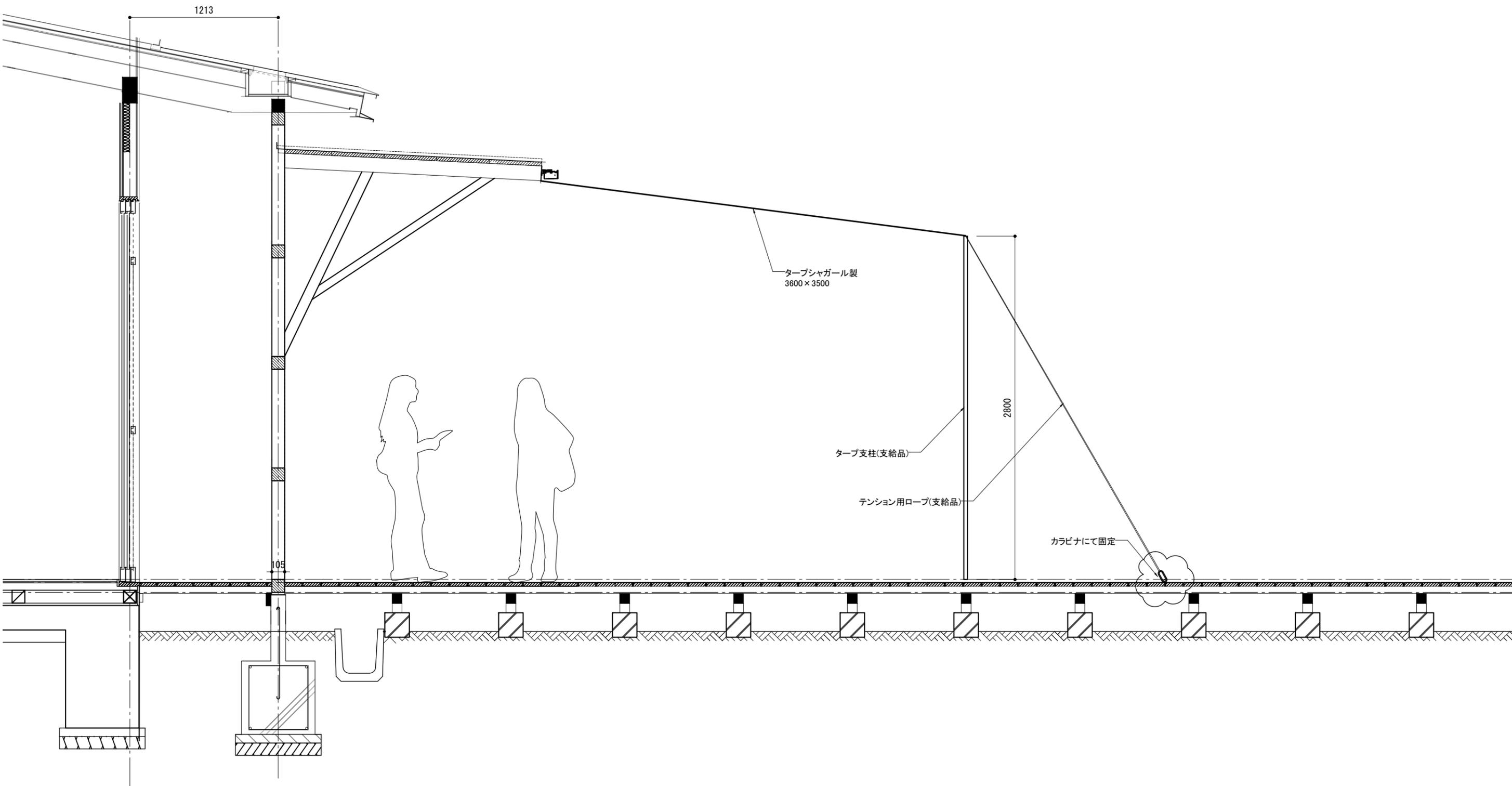
DOL-4601YB  
LED15.1W 2700K  
演色性 Ra83 黒リフ  
消費電力 15.1W  
首振り向きのみ90°回転360°  
人感・照度センサー付

人感センサー ON/OFF タイプ I 可動 強制ON

必要な時だけ点灯。  
人感センサー「ON/OFFタイプI」は、省エネと防犯を考えたセンサーです。







タープシャガール製  
3600×3500

タープ支柱(支給品)

テンション用ロープ(支給品)

カラビナにて固定

1213

105

2800